

2026

JMRC 関東 JMRC 東北



統一規則書

世界ラリー選手権 RALLY JAPAN 2026 開催決定！



2025年JAF全日本ラリー選手権 第5戦
2025 ARKラリー・カムイ
Photo: Manabu Takahashi

後援

JMRC関東 ラリー部会

協賛

スポンサー様の製品、技術、サービスを活用しましょう！

横浜ゴム 株式会社
住友ゴム工業 株式会社
カヤバ 株式会社
株式会社 ワイエフシー
株式会社 アレックス
ラリーパーツショップ H・A・S
ラリーテックワークス
株式会社 キャロッセ
FAITH CRAFT (フェイスクラフト)
オートハウスファニー 富士自動車工業 株式会社
有限会社 カーショップ コンベ
有限会社 ホットセラー (motorsportparts.jp)
有限会社 オズ・インターナショナル (Car Magic OZ)
愛知県豊田市 (Rally Japan)
シャフトモータースポーツ
株式会社 千明自動車

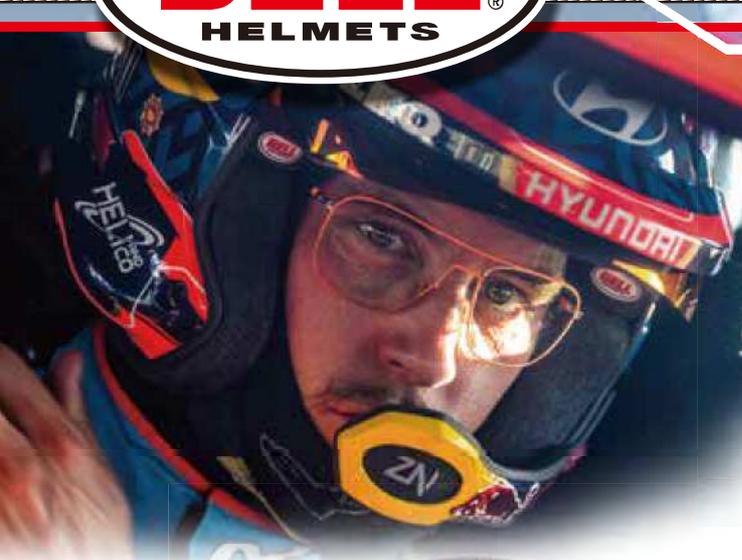
有限会社 ガレージグループフォー
ARM products
有限会社 幸和化工
メープルスポーツ
HK サービス
株式会社 BMKsport
有限会社 綾部
株式会社 レイティストシステム
株式会社 ダイヤサービス
(順不同)
[Special Thanks]
株式会社テイン
有限会社 畑 機工
NUTAHARA RALLY SCHOOL
GARAGE FIELD

JMRC関東 ラリー部会
公式ホームページ

<https://kanto-rally.info/>

※参加申込書、車両申告書は上記ホームページよりダウンロードしてください。





BELL for Rally

BELL HELMETS for RALLYは、オープンフェイスデザイン
MAG-10 RALLY CARBON・MAG-10 RALLY PRO
MAG-10 RALLY SPORT・MAG RALLY の4アイテムをラインナップ
いずれのモデルも厳しい安全規格FIA8859をクリアする。



MAG-10 RALLY CARBON
 ■ サイズ:54~61cm ※全フェイスモデルではありません。
 ■ 規格:FIA8859-2024 SA2025
 ■ Shell:carbon-glass composite
 ■ Hans Post clip 標準装備
 ■ ビークバイザー(ダークスモーク)標準装備
 ■ イヤマフ付・インコム内蔵



MAG-10 RALLY PRO
 ■ サイズ:54~61cm ※全フェイスモデルではありません。
 ■ 規格:FIA8859-2024 SA2025
 ■ Shell:Lightweight Premium Carbon/Glass Composite
 ■ Hans Post Clip 標準装備
 ■ ビークバイザー(白)標準装備
 ■ マンテックタッチクローズモックサンスクリーン(M10S)標準装備
 ■ ハーフテンパー付



MAG-10 RALLY SPORT
 ■ サイズ:XSM/SML/MED/LRG/XLG
 ※全フェイスモデルではありません。
 ■ 規格:FIA8859-2024
 ■ Shell:carbon-glass composite
 ■ Hans Post clip 標準装備
 ■ ビークバイザー(ダークスモーク)標準装備
 ■ イヤマフ付・インコム内蔵



MAG RALLY
 ■ サイズ:SML/MED/LRG/XLG ※全フェイスモデルではありません。
 ■ 規格:FIA8859-2024
 ■ Shell:fiberglass composite MAG TITANIUM
 ■ ビークバイザー(黒)標準装備
 ■ イヤマフ付・インコム内蔵

* BELLで装着されるHans Post Clipには、FIA8859認定ラベルが貼られています。
 * SNELL SA2025は、4輪レース用ヘルメット専用に必要な規格で、世界選手権などFIA公認競技会やJAF公認競技会に参加する場合には必要となる規格です。
 * BELL HELMETSの最新情報はホームページをご覧ください。

■サイズチャート

SHELL	D		E		F		G
SIZE	XXS	XS	S	M	L	XL	XXL
Metric (cm)	54	55	56	57	58	59	60



www.bellracing.jp 株式会社ワイエフシー 〒254-0047 神奈川県平塚市追分2番1号 Tel.0463-75-9346 Fax.0463-75-9534

※ 一度強い衝撃を受けた場合は使用しないでください。この広告に記載されたヘルメットはすべて4輪専用です。※ 製品に取り扱い説明書が付属しております。よくお読みいただき、十分にご理解された上でご使用ください。※ オリジナルカラーリングのオーダーも承ります。詳しくはお問い合わせください。※ 内装のオーバーホールを実施しています。ヘルメット本来の性能(安全・快適性)を取り戻すため、3年を日達にオーバーホールすることをお勧めいたします。● 掲載された内容は、2025年1月現在のものです。変更ならびに価格に改定のため予告なく変更する場合がございます。また、予告なく販売を中止する場合がございます。もしかしらご了承ください。● 掲載された以外に、各種ヘルメット、アクセサリー、パーツ、オリジナルグッズがございます。詳しくはホームページをご覧ください。● この広告は、Racing Force Group社の承認を受け制作しています。写真、イラスト等の無断転載、引用を固く禁止いたします。

WRC FORUM8 RALLY JAPAN 2026



2026 Calendar FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP

JAPAN
AICHI/GIFU

START **5.28** [THU] → FINISH **5.31** [SUN]

01	RALLYE MONTE-CARLO	ラリー・モンテカルロ	1.22 - 1.25	08	EKO ACROPOLIS RALLY GREECE	アクロポリス・ラリー・ギリシャ	6.25 - 6.28
02	RALLY SWEDEN	ラリー・スウェーデン	2.12 - 2.15	09	RALLY ESTONIA	ラリー・エストニア	7.16 - 7.19
03	SAFARI RALLY KENYA	サファリ・ラリー・ケニア	3.12 - 3.15	10	SECTO RALLY FINLAND	ラリー・フィンランド	7.30 - 8.2
04	CROATIA RALLY	クロアチア・ラリー	4.9 - 4.12	11	UENO RALLY DEL PARAGUAY	ラリー・パラグアイ	8.27 - 8.30
05	RALLY ISLAS CANARIAS	ラリー・イソラス・カナリアス	4.23 - 4.26	12	RALLY CHILE BIO BIO	ラリー・チリ	9.10 - 9.13
06	VODAFONE RALLY DE PORTUGAL	ラリー・ポルトガル	5.7 - 5.10	13	RALLY ITALIA SARDEGNA	ラリー・イタリア・サルディニア	10.1 - 10.4
07	FORUM8 RALLY JAPAN	フォーラムエイト・ラリー・ジャパン	5.28 - 5.31	14	RALLY SAUDI ARABIA	ラリー・サウジアラビア	11.11 - 11.14

JMRC 関東ラリー部会およびJMRC 東北ラリー部会は、JAF 関東地域クラブ協議会 (JMRC 関東) と JAF 東北地域クラブ協議会 (JMRC 東北) の専門部会として、関東1都9県と東北6県の各県ラリー部会で構成されています。

本年より関東ラリー部会は東北ラリー部会と連携し、広い地域での情報交換や課題共有を進め、全国 JMRC 組織の中心として、関東・東北、そして全国のラリー活動をより強く支えてまいります。

関東地区では、スペシャルステージ区間のタイムアタックで速さを競う「JMRC 関東ラリーカップ」、誰でも参加しやすくラリー入門として親しまれている「関東デイラリーシリーズ」を引き続き開催してまいります。東北地区においても地域に根ざしたラリーイベントが開催されており、今後は両地域の交流やノウハウ共有を進め、さらなる活性化を目指します。

また、統一規則の車両規則等について、全日本ラリー選手権との整合を図れるよう検討してまいります。

JMRC 関東ラリー部会では昨年より、JMRC 関東ラリーカップの入賞クルーの表彰に加え、優秀クラブ・優秀オフィシャルの表彰を開始し、地域運営を支えるオフィシャルやスタッフの貢献も積極的に評価する取り組みを進めております。

今後は東北部会とも協力し、地域を越えた表彰や交流の機会についても検討してまいります。

ラリーの魅力をより多くの方に楽しんでいただけるよう、誰もが参加しやすく、そして「安全で楽しいラリー」を提供できるよう、両部会員一同努めてまいります。

本規則書が、関東・東北のラリー活動発展に役立つことを願っております。

JMRC 関東ラリー部会 部会長 **西井 敏則**
 JMRC 東北ラリー部会 部会長 **小舘 優貴**

INDEX

JMRC 関東ラリー部会・JMRC 東北ラリー部会 部会長挨拶	4
関東・東北地区で開催されるラリーシリーズ	5
2026年 関東・東北地区ラリー開催日程	6
2026年 JMRC 関東・JMRC 東北ラリー統一規則	9
関東デイラリーシリーズの紹介と統一規則	17
ラリー参加についての手引き	23
スポーツ安全保険／ラリー見舞金／ラリー共済について	27
JMRC について	29
What is rally ?	30
SS ラリー競技車両の安全対策	33
ラリーセミナー紹介	35
2025年度シリーズ上位入賞者	37

お問い合わせは、JMRC 関東ラリー部会事務局へ
<https://kanto-rally.info/contact>



関東・東北地区で開催されるラリーシリーズのご紹介

開催日程は、本冊子6ページに掲載の「JMRC 関東・東北圏 JAF ラリー開催日程」を参照してください。
不明点・詳細情報は、各大会事務局に直接お問い合わせください。

JMRC 関東ラリーカップ (全10戦) <https://kanto-rally.info/>

JMRC 関東ラリー部会では、2015年に関東で一番速いクルーを輩出しよう！という目標をかかげました。

JMRC 関東ラリーカップは、関東圏で開催される上級イベントを対象に、スペシャルステージ (以下SS) 区間のタイムアタック最速クルーを選出すべく、SS区間の総距離をそのままポイントに換算し、1年間の総合計で競い合うラリーシリーズとしました。全戦有効で、最後までチャンピオン争いができ、ラリーの特徴でもあるクルーのタイムアタック技量がそのまま反映される、まさにモータースポーツの真髄のラリーシリーズです。

なお、JMRC 関東ラリー部会では、参戦クルーの所属クラブから年間優秀クラブを選出し表彰する取り組みや、優勝クルーをJAF 関東モータースポーツ表彰式に招待する取り組み等を行っています。
(※本年は、南房総ラリー/JMRC 長野県ラリーシリーズ/JMRC 群馬ラリーシリーズの10戦です)



JMRC 東北ラリーシリーズ (全3戦) <https://jmrct-rally.com>

1980年から行われている歴史のあるシリーズです。昔は東北の多くの地区で行われていましたが、現在は秋田県が主戦場となっています。しかし、6年前からは宮城県利府町で、昨年からは岩手県でも開催されるようになりました。

以前はグラベルラリーが主体でしたが、スノーはもちろん、ミックス、オールターマックの競技会も行われるようになり、活気づいてきたシリーズです。地区戦と規則が同じであるため、全て地区戦とダブルタイトルで開催されています。

なお、今年から北海道で開催されている「XCR スプリントカップ 北海道」と同じ車両規則で、新たにオープンクラスとして「東北XCRクラス」を新設します。スプリントカップに参加されてきた車両は、そのまま参戦できます。



JMRC 長野県ラリーシリーズ (全4戦) <https://www.janis.or.jp/users/rt-hato/naganorally/>

本年度、48回目の開催となる2026年のラリーシリーズは全4戦です。

競技内容は、全て1日のコンパクトなスペシャルステージ (SS) のラリーで、コースも全戦ターマックの設定です。主催者は県内各地の山岳コースの特徴を生かし、テクニカルな多種、多様な競技セッティングで選手のみなさんが楽しめるシリーズです。又、初心者も手軽に参加出来る設定も多くあり、JMRC 関東ラリーカップのポイントも同時に取得できます。

選手の皆様のご参加をお待ちしております。



JMRC 群馬ラリーシリーズ (全5戦) <https://www.gunma-rally.com>

2026年も全5戦を開催し、うち1戦はJAF 東日本ラリー選手権と併設です。1 Day ラリーが3戦、残り2戦は2 Day ラリーです。参戦選手は、初心者から上級者まで、若手からシニア世代の選手まで幅広く、群馬シリーズ初参加の方も例年多数います。一方、群馬戦から世界に羽ばたいた選手も何人もいます。

スタッフは、ラリー参戦と運営の両方の経験豊富な大先輩も多くおり、真剣に、かつユーモアいっぱいイベントを盛り上げています！全日本選手権、世界選手権も運営しているスタッフです。また、万一の際のレスキュー活動がスムーズにできるよう、救出訓練を行うなど安全面の向上にも日々努めています。

シリーズ表彰式では、群馬県の名産品のだるまさんが表彰記念品として送られます。

イベントの情報は群馬ラリーシリーズホームページ、公式Facebookに随時掲載しますので、チェックをお願いします。

たくさんの方のご参戦をお待ちしています♪



JAF 東日本ラリー選手権 (全6戦) <https://ejrc.jmrc.jp>

地方ラリー選手権は、国内最高峰の全日本ラリー選手権のひとつ下位の選手権として位置付けられており、「地区戦」とも呼ばれています。

JAFが認定する選手権競技会のシリーズ戦ですので、規則はJAFが定めた「日本ラリー選手権規定」に則って開催されており、ポイント集計、表彰はJAFが行うことになっています。また、現在は所属地区にかかわらず、どの地区のイベントでもポイントが付与されます。なお、JAFのシリーズですので、JMRCの加盟、非加盟にかかわらずポイントが付与され、シリーズ表彰は参加台数に関わらず各クラス6位まで表彰されます。

関東・東北地区で構成される東日本選手権は、スノー、ターマック、グラベル3つの路面すべてを走れないと上位獲得が難しい、ハイレベルなシリーズです。26年は全6戦となりましたが、そのほとんどがJMRC戦との併設又はダブルタイトルとなっています。

2026年 関東・東北地区

JAFラリー開催日程

関東 ラリー カップ	長野県 ラリー シリーズ	群馬 ラリー シリーズ	関東 デイルー シリーズ	東北 ラリー シリーズ	選手権	開催日	大会名称	オーガナイザー	申込先	QRコード (HP)	開催地 (距離[km])
				①	東日本 ①	1月24～25日	2026年 JAF東日本ラリー選手権第1戦 JMRC東北ラリーシリーズ 第1戦 2026ハチ公ウインターラリー	どんぐりスポーツカークラブ秋田	TEL : 090-2888-8627 hachikourally@gmail.com https://dsc-a.o-date.jp/		秋田 (85)
					東日本 ②	1月31～2月1日	2026年 JAF東日本ラリー選手権第2戦 Rally of Tsumagoi 2026	特定非営利活動法人 M.O.S.C.O.	TEL : 027-386-4365 / FAX : 027-386-4375 office@rally-montre.com https://www.rally-montre.com		群馬 (320)
			①			2月8日	2026年関東デイルーシリーズ 第1戦 ツール・ド・大山 2026	チームアッスル	TEL : 080-6640-6412 teamazu1043@gmail.com https://sites.google.com/view/teamazu1043		神奈川 (70)
①						3月7日	JMRC関東ラリーカップ 南房総ラリー 2026	チームホットスタッフ	TEL : 047-439-0048 / FAX : 047-430-1891 qzd00640@nifty.ne.jp https://team-hotstaff.net/		千葉 (150)
						4月18～19日	TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2026 in ハヶ岳 茅野	チーム上高地	TEL : 090-3147-7262 (小口) hiyoko28f@yahoo.co.jp https://kaps1973.com/		長野 (100)
②		①				4月18日	JMRC関東ラリーカップ/群馬ラリーシリーズ 第1戦 MSCCラリー in MIKABO 2026	マツダスポーツカークラブ	FAX : 03-3778-1230 msccrally@mazdasportscarclub.jp http://mazdasportscarclub.jp/		群馬 (150)
			②			4月19日	2026年関東デイルーシリーズ 第2戦 パープルラリー がまツア- 2026	クラブアイ	TEL : 090-5805-7713 rallypurple@gmail.com http://rally-purple.blogspot.com		茨城 (100)
③		②			東日本 ③	5月16～17日	2026年 JAF東日本ラリー選手権第3戦 JMRC関東ラリーカップ/群馬ラリーシリーズ 第2戦 ネコステ山岳ラリー 2026	ネコステラリーチーム	TEL : 049-277-2005 bsf_taka@yahoo.co.jp http://www.gunma-rally.com/		群馬 (160)
					WRC	5月28～31日	2026 FIA World Rally Championship FORUM8 RALLY JAPAN 2026	トヨタ・モータースポーツ・クラブ 特定非営利活動法人 M.O.S.C.O. 豊田市	TEL : 027-386-4365 / FAX : 027-386-4375 office@rally-montre.com https://www.rally-montre.com		愛知 (800) 岐阜 (400)
			③			6月7日	2026年関東デイルーシリーズ 第3戦 「第52回 光岡ラリー」	ラリークラブぐるーぶ光岡	TEL : 070-1553-0392 rcgmtakano@hotmail.co.jp https://www.rcgm392.com/		茨城 (80)
				②	東日本 ④	6月13日	2026年 JAF東日本ラリー選手権第4戦 JMRC東北ラリーシリーズ 第2戦 第44回どんぐりハチ公ラリー	どんぐりスポーツカークラブ秋田	TEL : 090-2888-8627 hachikourally@gmail.com https://dsc-a.o-date.jp/		秋田 (70)
④	①					6月13日	JMRC関東ラリーカップ/長野県ラリーシリーズ 第1戦 上高地ラリー 2026	チーム上高地	TEL : 090-3147-7262 (小口) hiyoko28f@yahoo.co.jp https://kaps1973.com/		長野 (180)
						6月27～28日	TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2026 in 渋川伊香保	チームアルパイン群馬	TEL : 027-233-1267 t.a.g.tsunoda@gmail.com http://www.gunma-rally.com/		群馬 (100)
⑤		③				7月4～5日	JMRC関東ラリーカップ/群馬ラリーシリーズ 第4戦 Play-Stage Rally	プレステージモータースポーツクラブ	TEL : 090-3518-6745 Kuro_ani@yahoo.co.jp http://ps-rally.com		群馬 (200)
			④			7月5日	2026年関東デイルーシリーズ 第4戦 MSCC ラリー in 鮫川	マツダスポーツカークラブ	FAX : 03-3778-1230 msccrally@mazdasportscarclub.jp http://mazdasportscarclub.jp/		福島 (100)
⑥	②					7月18日	JMRC関東ラリーカップ/長野県ラリーシリーズ 第2戦 第47回りんどう ALPEN ATTACK 2026	チームりんどう	TEL : 0263-77-2418 tm_rindo@yahoo.co.jp https://www.janis.or.jp/users/rt-hato/naganorally/rindo/rindo.html		長野 (165)
						8月1～2日	2026年 XCRスプリントカップシリーズ第4戦 ASAMA ATTACK	特定非営利活動法人 M.O.S.C.O.	TEL : 027-386-4365 / FAX : 027-386-4375 office@rally-montre.com https://www.rally-montre.com		群馬 (100)
⑦	③					9月5日	JMRC関東ラリーカップ/長野県ラリーシリーズ 第3戦 はと車ラリー 2026	ラリーチームはと車	TEL : 0269-85-3330 rt-hato@janis.or.jp http://www.janis.or.jp/users/rt-hato/		長野 (171)
			⑤			9月6日	2026年関東デイルーシリーズ 第5戦 ソネットラリー in 日光	チームソネット	TEL : 0288-21-0572 maji@juno.ocn.ne.jp http://jmrctochigirally.blog.fc2.com/		栃木 (100)
⑧		④				9月12～13日	JMRC関東ラリーカップ/群馬ラリーシリーズ 第4戦 あさま隠山岳ラリー 2026	オートスポーツクラブあさま隠	TEL : 090-8894-4684 katakai@xp.wind.jp http://www.gunma-rally.com/		群馬 (200)
					全日本 ⑦	9月25～27日	2026年JAF全日本ラリー選手権 第7戦 MSCCラリー in 福島伊達2026	マツダスポーツカークラブ	FAX : 03-3778-1230 msccrally@mazdasportscarclub.jp http://mazdasportscarclub.jp/		福島 (390)
						10月2～3日	第7回 クラシックミーティング 日本アルペンラリー® 2026	チーム上高地	TEL : 090-3147-7262 (小口) hiyoko28f@yahoo.co.jp https://kaps1973.com/		長野 (300)
⑨		⑤				10月3～4日	JMRC関東ラリーカップ/群馬ラリーシリーズ 第5戦 第72回 チームif 山岳ラリー	オートスポーツクラブチームイフ	TEL : 0276-74-235 fwhw5937@mb.infoweb.ne.jp https://team-if.net		群馬 (190)
				③	東日本 ⑤	10月10～11日	2026年 JAF東日本ラリー選手権第5戦 JMRC東北ラリーシリーズ 第3戦 利府ラリー 2026	ラリーチームグランドプロジェクト	TEL : 090-3127-8038 nakano-j@agate.plala.or.jp https://rifujmrc.jp/		宮城 (150)
					全日本 ⑧	10月16～18日	2026年JAF全日本ラリー選手権 第8戦 第53回 M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ 2026 supported by カヤバ	松本カースポーツクラブ マツダスポーツカークラブ	TEL : 0263-87-9006 / FAX : 0263-87-9008 office@mcsc-rally.net https://mcsc-rally.net/		岐阜 (400)
			⑥			10月19日	2026年関東デイルーシリーズ 第6戦 第61回 男女川ラリー	ターマックモータースポーツクラブ	TEL : 0296-77-7583 / FAX : 0296-77-5704		茨城 (100)
⑩	④				東日本 ⑥	10月24日	2026年JAF東日本ラリー選手権 第6戦 JMRC関東ラリーカップ/長野県ラリーシリーズ 第4戦 第45回 ハチヶ峰ラリー 2026	チーム林道イト	TEL : 090-2662-4711 takahito.miyagi@gmail.com https://www.tr-8.club/		長野 (200)
					全日本 ⑨	11月20～22日	2026年JAF全日本ラリー選手権 第9戦 MONTRE 2026	特定非営利活動法人 M.O.S.C.O. 上州オートクラブ	TEL : 027-386-4365 / FAX : 027-386-4375 office@rally-montre.com https://www.rally-montre.com		秋田 (85)



DUNLOP MOTORSPORT & SPORT TYRE



DIREZZA 03G DIREZZA β⁰² DIREZZA β¹¹ DIREZZA ZII DIREZZA 74R DIREZZA 88R DIREZZA 301R DIREZZA 201R DIREZZA 95R

HIGH GRIP (CIK-FIA 公認)

SL (JAF 認定)

RENTAL KART



High Grip tyre SLICK
DH M

RAIN (Front)
W15

RAIN (Rear)
W15

SLICK
SL6/SL83/SLJ

RAIN (Front)
W2

RAIN (Rear)
W2

ALL WEATHER
SL98

SLICK
DRK-L1/DRK-SP/KE-1



DUNLOP
MOTORSPORT
WEB SITE



DUNLOP
MOTORSPORT
FACEBOOK

<http://tyre.dunlop.co.jp>

月に一度は空気圧の点検を!

タイヤお客様相談室
0120-39-2788
受付時間 平日(月~金)
9:00~12:00/13:00~17:00

2026年JMRC関東・JMRC東北 ラリー統一規則

本規則は関東地区のJMRC 関東ラリーカップ（以下、「関東戦」という）、群馬ラリーシリーズ（以下、「群馬戦」という）、JMRC 長野県ラリーシリーズ（以下、「長野戦」という）、JMRC 東北ラリーシリーズ（以下、「東北戦」という）に適用する。
なお、JAF 東日本ラリー選手権（以下、「地区戦」という）にも適用されるが、JAF 日本ラリー選手権規定及び JAF 東日本ラリー選手権統一規則を上位規則とする。

第1章 大会告知

第1条 競技会特別事項

本規則を適用するオーガナイザーは当該競技会の特別規則書に各項目を明記すること。

○公示

本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則およびその細則、ラリー競技開催規定、JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則および本競技会特別規則書に従って開催される。

○プログラム

○競技会の名称

○競技の格式

○競技種目

○開催日程および開催場所

○競技会本部（HQ）

○コース概要（※総走行距離、SS距離、SS本数、路面等）

○オーガナイザー

○組織

○参加申込受付期間

○参加申込および問い合わせ先（大会事務局）

○レッキの実施方法

○タイムコントロール（※アーリーアライバルの有無等）

○スペシャルステージ（※計時方法（1/10秒等々））

○整備作業 ※リモートサービス・フレキシサービスの有無

○賞典

○その他

○細則

細則1. アイテナリー

細則2. レッキのスケジュール

細則3. コンペティターズリレーションズオフィサー(CRO)

細則4. 信号灯によるスタート手順

細則5. ゼッケンおよび広告

細則6. スーパースペシャルステージ（設定される場合）

4クラス：気筒容積区別無し AE車両とAT車両

※AT車両に関して車両重量が2トン以下で且つ気筒容積2500cc以上の4輪駆動車両は除く

地区戦以下すべて共通

第4条 タイヤ

1. 当該年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に定めるタイヤとし、銘柄によるタイヤ規制は行わない。ただし、「M+S」(Mud&Snow)の表示があるタイヤ（ラリータイヤ等）以外を使用する場合は、下記事項を満たしたタイヤを使用すること。

(1) タイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。縦溝のみを有したタイヤの使用は認められない。

(2) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

2. クラスごとにタイヤ幅に制限を設ける。

1クラス：最大幅245ミリ（タイヤに刻印されたサイズ）

2クラス：最大幅225ミリ（タイヤに刻印されたサイズ）

3クラス：最大幅215ミリ（タイヤに刻印されたサイズ）

4クラス：最大幅225ミリ（タイヤに刻印されたサイズ）

※RJ車両及び4クラスの車両重量が1.5トン以上の車両については同一車両形式のカタログに記載されているタイヤサイズを最大値とする。

地区戦以下すべて共通

第5条 ホイール

1クラス：最大直径18インチ 最大幅8.5インチ

2クラス：最大直径18インチ 最大幅7.5インチ

3クラス：最大直径18インチ 最大幅7.0インチ

4クラス：最大直径18インチ 最大幅7.5インチ

※RJ車両及び4クラスの車両重量が1.5トン以上の車両については同一車両形式のカタログに記載されているホイールサイズを最大値とする。

地区戦以下すべて共通

第6条 安全ベルト

安全ベルトはJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第2章安全規定に合致したものとし、5点式以上を必着とする。車体側へのハーネスの取り付け方法は、当該年度JAF国内競技車両規則細則ラリー競技およびスピード競技における安全ベルトに関する指導要綱4.車体側への取り付けに準拠すること。なお、ハンス専用シートベルトの装着を強く推奨する。ハンス専用シートベルトをハンス無しで利用することを禁止する。

地区戦以下すべて共通

第7条 音量規制

1. 吸気系における空気を取り入れるためのダクトの追加は禁止する。
2. エアクリーターエレメントの交換は当初の方式を保っていれば自由、なおエアクリーターボックスは当初のままであればならない

第2章 車両に関する基準規則

第2条 参加車両

参加できる車両は、当該年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に定める

RRN車両、RJ車両、RPN車両、RF車両、AE車両、2002年ラリー車両規則に定められたRB車両とする。

RB車両は地区戦には参加できない。

第3条 クラス区分

1クラス：気筒容積2500ccを超える4輪駆動車両及び気筒容積区別なしのRRN車両

2クラス：気筒容積1500ccを超える2輪駆動車両及び気筒容積1500ccを超え2500ccを含み2500ccまでの4輪駆動車両

3クラス：気筒容積1500ccを含み1500ccまでの車両及び2006年以降登録の気筒容積1600cc以下のRPN車両

3. 触媒コンバーター以降の排気管及びマフラーについて車検（国土交通省が行う自動車検査登録制度）合格時の物を使用すること。

なお、各競技会特別規則書に上記1、2、3を削除することは制限しない。

第8条 前部霧灯（通称：補助灯）

1. 取り付け出来る補助灯は2灯までとし、点灯時は車幅灯および番号灯と連動しなければならない。また照射部の取り付け高さはヘッドライトの上縁を超えないこと。
2. ヘッドライトより高いボンネット上に2灯または4灯の補助灯を取付けた場合、より高い位置の2灯をヘッドライトのハイビームとすることにより認められる。
3. 車両に標準装備のフォグランプを含め、同時点灯出来るヘッドライトと補助灯は合計で6灯までとする。
4. 4灯一体型ヘッドライト装着車両に2個以上の補助灯を取り付ける場合は、同時に8灯点灯にならないようにすること。なお、取り付けに際し不明な場合はJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定 第3章/第4章/第5章内の各車カテゴリーにある前部霧灯（フォグランプ）の項を参照する。また、RF車両についても道路運送車両法の保安基準に適合した取り付けを行うこと。
5. 補助灯として横長LED照明装置（LEDライトバー）を装着する場合、以下の各項に従うこと。
 - （1）LEDライトバーを前部霧灯として使用する場合、数は2灯以下とし車両中心より左右対称であり、その照射部はヘッドライトロービームの照明部より上にならないこと。また点灯時には車幅灯、尾灯、ナンバー灯が同時点灯すること。
 - （2）LEDライトバーをヘッドライトのハイビームとして使用する場合、取り付けは2灯又は4灯とし左右対称であり、照射光線は進行方向を正射ししなければならない。またロービームに切り替えた場合は消灯すること。かつ、点灯時には車幅灯、尾灯、ナンバー灯が同時点灯すること。
 - （3）LEDライトバーをヘッドライトのロービームとして使用する場合、取り付けは2灯とし左右対称であり、照射光線は進行方向を正射し光軸の水平面以下でなければならない。また照明部は車体の最外側から400mm以内であること。かつ、点灯時には車幅灯、尾灯、ナンバー灯

が同時点灯すること。

（4）LEDライトバーを上記（1）～（3）以外の照明として使用する場合、取り付けは左右対称に2灯とし、照明部の内端は600mm以上の間隔があること。また灯火の色は白色とし照度は1440カンデラ以下であること。

（5）上記（1）～（4）いずれの場合も、点灯のための配線は車体外部に露出してはならず、緩衝性のない鋭角を持つ取り付け具は使用出来ない。

※上記LEDライトバーを含め補助灯火を使用する場合は、JAF国内競技車両規則 第2編ラリー車両規定に従うこと。

第9条 けん引用穴あきブラケット

前後にけん引用穴あきブラケットを備えなければならない。このけん引用穴あきブラケットは車両が自由に移動できる場合（けん引時）にのみ使用されるものとする。また、このブラケットは明確に確認でき、黄、赤、またはオレンジ色で塗装されていなければならない。取り付け場所が視認できない場合は、黄色・赤色またはオレンジ色の矢印で穴あきブラケットの位置を明示すること。また、各車両用に純正にまたは標準装備されている牽引部分／純正の緊急用・牽引工具も認められる。

第10条 最低地上高

最低地上高は道路運送車両法に則り、9cm（アンダーガードを含む）以下にならないこと。

第3章 競技参加に関する基準規則

第11条 参加資格

1. 参加者は、有効な競技参加者許可証の所持者でなければならない。ただし、JAF発給の競技運転者許可証を有する者は参加者を兼ねることができる。
2. 競技運転者は、参加車両の運転に有効な自動車運転免許証と有効な競技運転者許可証の所持者でなければならない。
3. 1台の参加車両に搭乗するクルーは、ドライバーおよびコ・ドライバーの2名とする。

第12条 参加申込方法および参加受理

1. 参加車両名は必ず車両名（型式ではなく通称名：ヤリス、マーチ等）を入れること。
2. 正式受理後の参加料は、オーガナイザーの都合で競技会を



For More Comfortable Motor Sports Life
SHAFT
since 1984

競技車両製作、ボディ補強、セッティング、メンテナンス、競技用オリジナルパーツの開発・販売を通じて、皆様のモータースポーツ活動をサポートしています。
FFドライビングの第一人者大桃千明によってセッティングされたサスペンションやブレーキを、ぜひ一度味わってみてください。

〒341-0035
埼玉県三郷市鷹野 5-341-1
TEL 048-956-7185
FAX 048-956-7186
営業時間 11:00 - 21:00
定休日 月曜日

中止した場合を除き、返金されない。参加不受理の場合は参加料及び保険料が全額返還される。但し、事務手数料として2,000円を参加申込者の負担とする。

3. 参加受理の可否は主催クラブHPへの掲出やメール送付等にて通知する。
4. 参加者は、参加申請が受理された後、不可抗力により参加できない時は、参加確認受付終了までにオーガナイザーにその旨を連絡しなければならない。

第13条 保険

1. 当該競技会に有効な対人賠償保険、対物保険および搭乗者（人身賠償）保険の加入を義務とする。オーガナイザーが認めた場合は、JMRC関東ラリー共済、JMRC東北ラリー共済、全国ラリー共済、スポーツ安全保険及びJMRC地区共済、見舞金の適用も可とする。なお、詳細は各競技会特別規則書による。
2. JMRC 関東ラリー共済(対人賠償保険、対物保険として使用) 搭乗者保険は含まれていないため、JMRC関東スポーツ安全保険C区分・B区分又はJMRC関東見舞金を 搭乗者保険として適用できる。
なお東北地区の競技会ではJMRC関東ラリー共済は使用できないため、下記4の全国ラリー共済を使用すること。詳細はJMRC関東のHP (<https://jmrc-kanto.org/>主催者向けご案内)

3. JMRC 東北ラリー共済 (対人賠償保険、対物保険として使用) JMRC東北の加盟クラブ・団体に登録していなければならない。また、搭乗者保険は含まれていないため、JMRC東北スポーツ安全保険C区分・B区分又はJMRC東北共済を搭乗者保険として適用できる。詳細はJMRC東北ラリー部会のHP (<https://jmrc-rally.com/rule.html>)

4. 全国ラリー共済 (対人賠償保険、対物保険、搭乗者保険として使用) 搭乗者補償が、死亡のみのため、ケガ等のためにスポーツ安全保険C区分・B区分、地区共済・見舞金の加入を強く推奨する。未加入の場合はケガ等が補償され



ないうえでの加入の合意書の提出を義務とする。

詳細はJAF東日本ラリー選手権のHP (<https://ejrc.jmrc.jp/mutual.php>)

5. スポーツ安全保険及び JMRC 地区共済・見舞金 (搭乗者保険として使用)

加入については別途、オーガナイザーに申し出ること。

群馬戦に関しては、スポーツ安全保険または地区見舞金の加入を義務とする。

6. オーガナイザーの用意した保険 詳細は各競技会特別規則書による。

7. 個人で加入する場合

申込時に保険証券または保険契約証明書を送付すること。間に合わない場合は参加確認時に提示すること。



第14条 参加費割増

JMRCに加盟しているJAF 登録クラブ・団体及びJMRC承認チームに所属していないクルーは当該競技会の参加料に1人当たり5000円増額とする。虚偽の申告があった場合には罰則を与える場合がある。

加盟しているJMRC地区については、関東、東北地区以外でも可とする。

第15条 参加者に対する指示および公示

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第4条 公式書類に従う。

なお、早急な伝達方法として参加者及びクルーへの参加申込時に登録されたメールアドレス宛への通知やRallyStreamを使用して行う場合もある。

第16条 参加確認

定められた時間内に、参加者、ドライバーおよびコ・ドライバーは、各々本人が下記の書類を参加確認受付時に提出すること。

1. ドライバーおよびコ・ドライバーの自動車運転免許証
2. ドライバーおよびコ・ドライバーの競技運転者許可証
3. 競技参加者許可証
4. 自動車検査証
5. 自動車損害賠償責任保険証
6. ラリー競技に有効な対人賠償保険および搭乗者保険証 (人



- 身傷害、共済等)の加入が確認できる書類等
7. JMRCの加盟を証明するもの(スポーツ安全保険加入証他)
 8. その他、必要な場合は、「臨時運行許可証(臨時運行許可申請書)」、「自動車カルネおよび登録証書」等

第17条 クルーおよび参加車両の変更

1. 正式参加受理後のクルーの変更は認められない。ただし、コ・ドライバーおよび参加車両については、参加者から参加確認受付終了までに理由を付した文書が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。事務手数料については各競技会特別規則書にて提示される。
2. 参加クラスの変更を伴う参加車両の変更は認められない。

第18条 車両検査

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第10条に従う。

第4章 競技の安全に関する基準規則

第19条 安全装備

1. クルーが着用するもの：
 - (1) JAF国内競技車両規則第5編細則「ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する細則」に従ったヘルメット
 - (2) JAF国内競技車両規則第5編細則「ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する細則」細則に従ったレーシングスーツ
 - (3) ドライバーはグローブを着用すること。
 - (4) JAF国内競技車両規則第5編細則「ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する細則」に従った頭部及び頸部の保護装置(FHRシステム)(強く推奨)
レーシングスーツについては国内格式基準に準拠したもの着用に強く推奨する。
なお、FIA公認のFHRシステムについては群馬戦では必需とし、他は強く推奨する。
FHRシステムの着用に伴うシートベルトの取り付けに関しては、FIAガイドライン(『Guide and installation specification for HANS® devices in racing competition』または『Guide and installation specification for Hybrid & Hybrid Pro devices in racing competition』)を推奨する。

2. 参加車両に搭載するもの：

- (1) 非常用停止表示板(三角)2枚
- (2) 片面に赤字で「SOS」、もう片面には緑字で「OK」と書かれたA3判のカード2枚
- (3) 非常用信号用具
- (4) 牽引用ロープ
- (5) 救急薬品
- (6) 各車両規定に定められている仕様の消火器

第20条 競技クルーの安全

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第9条16他を再掲出すので遵守すること。

第29条 16. 競技クルーの安全

1. スペシャルステージで参加車両がやむを得ず停車した場合、クルーはその場所から少なくとも50m手前の目立つ場所に反射式の三角表示板を車両と同じ側に配置し、後続車両に適切な合図を行わなければならない。なお車両がコース上にない場合も三角表示板を配置しなければならない。この規則に従わないクルーは審査委員会の判断によりペナルティが課される。
2. 参加車両には、片面に赤字で「SOS」、もう片面には緑字で「OK」と書かれたA3判のカードが搭載されており、救急医療措置が不要な場合または消火が必要な場合は、「OK」の面をすべての後続車両に明瞭に提示すること。また他に援助を行おうとしている者(ヘリコプター等)があれば、それらに対しても同様に提示すること。停車車両がコース上の場合、状況に応じて停車状態をボディアクション等で後続車両に対し、当該区間最終参加車両通過まで合図すること。
3. その後速やかに復帰が可能か否かを判断すること。
4. 復帰可能と判断した場合、安全確保を最優先に作業を実施する。特に後続車両が接近した場合は作業を中断し安全な場所へ退避すること。
5. 復帰不可能と判断した場合、当該区間最終参加車両通過まで車外の安全な場所で退避すること。
6. クルーが車両から離れる場合は、後続車にはっきりと見える場所に「OK」の面を提示しておくこと。

トラクションをかせぎだす!!オリジナルマウント、ブッシュ!!

ALEXで購入可能!!



総代理店:株式会社アレックス

(有)幸和化工 代表:吉田和広

〒125-0062 東京都葛飾区青戸5-33-4
TEL:03-3601-3546

■どんな車種のエンジンマウントや、
ゴムブッシュでも企画、製作、加工をいたします。

■一般のゴム製品も
特殊な形状も対応可能です。

7. 近接した地点に複数車両が停止した場合、夫々の車両が上記1～6を実施すること。
8. 救急医療措置が必要な場合または消火が必要な場合は赤色の「SOS」の面を提示すること。これが提示されていた場合、後続車は下記の手順に従う。また「OK」「SOS」のどちらの提示もなく、車両がかなりのダメージを負っていてクルーが車両内および／または車両の外にいると思われる場合も同様の手順に従うこと。
- ①援助するために直ちに停止する。その他の後続の車両も停止し、事故現場に2番目に到着した車両は、事故のことを知らせるために次のラジオポイントかストップまで行く。
- ②それ以降のすべての後続車は緊急車のための車幅をあけて停止し、援助を行う。
- なお、後続車が援助にあたる場合、少なくともクルーの1人は以降の後続車への告知対応を行うこと。
9. 上記2または8の場合で、いかなる理由においても「OK」「SOS」の面を提示することが可能でない状況にあるときは、車外でクルーによって示される明らかで明確に理解できるジェスチャーで置き換えることができる。
- 腕を上げ、親指を立てて示す「OK」(図1)
 - 頭の上で腕を交差して示す「SOS」(図2)

図1



図2



10. 上記一連の緊急措置はロードブックにも明記しなければならない。また、これらの緊急措置に従わなかったクルーは、審査委員会に報告される
11. リタイヤしたクルーは、リタイヤ届けおよびタイムカードを必ずオーガナイザーに提出しなければならない。この規則に従わないクルーは審査委員会の判断によりペナルティが課される
12. クルーメンバー以外の人を負傷する事故に関わった場合、クルーは直ちに停車して、スペシャルステージでの事故の手順に従わなければならない

19. 他の車両に追い付かれたクルー／車両は、安全に追越しをさせるために必要な行動をとらなければならない。これは車両の問題でタイムを落としている場合や、コースを逸脱し再スタートした場合に特に当てはまる。追い越される準備が整ったことは、適切な方向指示器の操作にて示すこと(例:左ウインカーは、追い越される車両がコースの左側に寄ったままでいることを示す)。追い越される車両は、十分な道幅のあるところで左に寄る、または安全な場所に停止するなど、追越しに必要なあらゆる運転操作をすること。車両に車対車通信装置が備えられている場合、最初の追越し要求からこの規則が適用される。双方のクルーは危険なく追越しを完了させる責任を負う。

第5章 参加者の遵守事項

第21条 参加者の遵守事項

JAF 国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第33条を再掲出するので遵守すること。

第33条 一般規定

オーガナイザーは参加者およびクルーに対し、下記の事項の遵守を徹底させること。

1. 競技中は道路交通法の遵守を最優先とする。
2. 一般車両および歩行者に迷惑を及ぼさないこと。
3. 競技役員の指示には従うこと。
4. クルーは常にスポーツマンシップに則ったマナーの下に行動し、マナーに反する言動や態度をとってはならない。
5. 他車に追従する場合または対向車のある場合は、前照灯の照射方向を適切に変換し、眩惑を生じさせないように留意すること。
6. 明らかに追い越そうとしている車両がある場合は安全かつすみやかに進路を譲ること。
7. クルーは指示された行程(サービスパークを含む)を正確に維持しなければならない。特に、ロードブックに記載されたルートから逸脱して走行してはならない。この行程はロードブックにおいて、道順を示すコマ図と、コマとコマの間についてはその間をつなぐ道路によって定義される。なお何らかの原因でオーガナイザーが迂回を指示した場合はその迂回路に従うこと。
8. 競技から離脱した場合は直ちに最寄りの競技役員に離脱、

レース・ラリー・ジムカーナ・ダートラ
競技車両製作します

FunnySport

オートハウス ファニーは、RLight Up Rally Team を応援しております。

E-Mail : rlightuprallyteam@gmail.com



オートハウスファニー / 富士自動車工業 (株)

電話 : 048-431-9900

<http://www.funny-car.co.jp>



リタイヤ届けおよびタイムカードを提出すること。提出が不可能な場合は電話等の手段で競技会事務局に連絡すること。

- 失格またはリタイヤとなった場合は直ちにゼッケン、ラリー競技会之証およびその他の競技関係添付物を取り除くこと。ただし、次のレグでの再スタートを予定している場合は除く。

第22条 動画等の権利

競技中に撮影した動画映像画像の権利は各主催者にある。撮影したエントラントが個人で楽しむことは自由だが、不特定多数の方への一般公開・またスポンサー資料等に利用する際には、事前に各主催者に連絡し許可を得ること。
 なお、インカー撮影用の機材の取り付けについては、当該年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に従うこと。

第6章 競技に関する基準規則

第23条 プリーフィング

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第13条に従う。

第24条 燃料補給および充電

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第19条に従う。

第25条 整備作業の範囲

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第17条に従う。

第26条 リスタート

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第20条に従う（26年からこの表記に）

第7章 抗議および損害の補償他

第27条 抗議

JAF国内競技規則 細則のラリー競技開催規定 細則 スペシャルステージラリー開催規定第34条に従う。

第28条 損害の補償

- 参加者は参加車両及びその附属品が破損した場合ならびに第三者に損害を与えた場合、また道路施設等を損壊した場合、その責任を自己が負わなければならない。参加者の負傷・死亡・その他車両の損害賠償などに対してJAF及びオーガナイザーならびに大会役員、道路施設等の管理者は一切補償責任を負わない。
- 参加者が競技中に起こしたオーガナイザーならびに大会役員車及びその器材、道路施設等との事故はいかなる場合も参加者が責任をもって賠償するものとする。

第29条 練習走行の禁止

公道での練習走行を禁止する。発覚した場合、東北、関東地域の競技会に参加を拒否することがある。

第8章 競技会の成立、延期、中止、または短縮

第30条 競技会の成立、延期、中止、または短縮

- 保安上または不可抗力のため競技会実施あるいは続行が困難になった場合、競技会審査委員会の決定により競技会の延期、中止または短縮を行う場合がある。
- オーガナイザーは参加申込み締め切り後、参加台数が20台に満たない場合は競技を中止または延期することができる。
- 参加申込み締め切り後、天災により物理的にラリー開催が不可能となった場合、オーガナイザーの財政保護を目的に、返却する参加費から10%（1,000円未満は切り捨て）の金額および事務手数料（各競技会特別規則書による）を参加費申し込み費から引いて返却することが出来る。

第9章 賞典およびシリーズ表彰

第31条 賞典

1. シリーズについて

各シリーズの競技会数、シリーズ成立戦数、有効戦数、最低参加戦数、クラス成立台数、ポイント付与条件は下記の表とする。

	競技会数	成立戦数	有効戦数	参加戦数	クラス	ポイント付与条件
関東戦	10戦	3戦	全戦	1戦	1台	JMRC加入(地区問わず)
東北戦	3戦	2戦	全戦	1戦	1台	JMRC加入(地区問わず)
群馬戦	5戦	2戦	全戦	2戦	1台	無し
長野戦	4戦	2戦	全戦	2戦	1台	JMRC加入(地区問わず)
地区戦	6戦	3戦	6戦	1戦	3台	無し



Faith Craft

フェイスクラフト 代表 石崎 秀雄
 〒309-1705 茨城県笠間市東平4-7-50
 TEL0296-78-5260 FAX 0296-78-9852
<http://www.faith-craft.com/>
 e-mail info@faith-craft.com

イシザキスペック

2. シリーズポイント

各クラス共ドライバー、コ・ドライバーに対し参加台数に関わらず下記のポイントとし、地区戦、群馬戦以外は、シリーズ最終戦までにJMRC登録クラブ（地区は問わず）に加入することをポイント付与条件とする。

※関東戦は別途記載

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	完走	出走
地区戦												
東北戦	20	15	12	10	8	6	4	3	0	0	0	0
長野戦									2	1		
群馬戦												

●関東戦

- 各クラス共、ドライバー、コ・ドライバーの1位～3位にポイントを与える。
- ポイントは、オーガナイザーが競技開催後にJAFに提出するアイテナリに基づくSS距離1kmにつき1点としてポイントを与える。(端数は切り捨て)
ただし、SS 総距離が50kmを超える競技会にあっても、与えられるポイントは最大50点までとし、SS総距離が20km以下の競技会にあっても、与えられるポイントは20点とする。
- ポイント配分 (全戦有効・最低参戦数1戦以上・参加台数による係数無し)

1位: 上記ポイント

2位: 1位の獲得した得点の半分 (小数点切り捨て)

3位: 2位の獲得した得点の半分 (小数点切り捨て)

3. シリーズ表彰

●関東戦

各クラスドライバー、コ・ドライバー両部門を6位まで表彰する。複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、1回のポイント数の多いものとする。
それでも決まらない場合は、JMRC関東シリーズ運営委員会の判断とする。

●東北戦

各クラスドライバー、コ・ドライバー両部門を6位まで表彰する。2戦以上出場した者が6名に達しないクラスは、1戦出場した者も含め6名を表彰対象とする。

●群馬戦

各クラスドライバー、コ・ドライバー両部門を6位まで表

彰する。複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、当該年の群馬ラリーシリーズ統一規則に従う。

●長野戦

各クラスドライバー、コ・ドライバー両部門を3位まで表彰する。複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、地方選手権の規定に従う。

※すべてのシリーズに置いて各クラスの参加台数により、表彰人数を変更する場合がある

●地区戦

各クラス6位までJAFが表彰し、同ポイントの場合は下記のとおりとする。

- 上位得点の獲得回数が多い順に順位を決定する。
- 上記1によっても順位が決まらない場合は、当該競技者が得たすべての得点のうち、上位得点の獲得回数が多い順に順位を決定する。
- 上記2によっても順位が決まらない場合は、下記の通りとする。
 - ①1位が複数存在する場合は、上位得点を獲得した競技会の各クラスにおける出走台数の多い順、次に当該年に当該クラスの地方選手権競技会に出場した回数の多い順に順位を決定する。
 - ②上記①以外の場合は、同順位として認定する。ただし、下位の者の順位は繰り上げない。

第32条 本統一規則の解釈

競技会中に本統一規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会が決定する。

第33条 シリーズ罰則

- 本規則に重大な違反した場合、本年度のシリーズポイント及び当該シリーズ参加資格を剥奪する場合がある。
- 競技中にドライバーとコ・ドライバーが交代して運転した場合、入賞してもシリーズポイントを与えない場合がある。

第34条 本統一規則の施行

本統一規則は、2026年1月1日より施行とする。

COMPE

<http://www.cs-compe.co.jp/>

〒192-0512
東京都八王子市美山町839-1
TEL 042-652-1122 FAX 042-652-1123

コンペラリーチームで 一緒にモータースポーツを楽しもう!

コンペラリーチーム (C.R.T) は、ラリー、ダートラ、ジムカーナ、レースなどモータースポーツに参加するエントラントクラブです。年に数回ラリーやダートラなどを主催し、練習会、忘年会など楽しく活動しています。是非一度、カーショップコンペに遊びに来てください。



Let's enjoy RALLY!



す〜べる **RALLY CAR** の
風きるはやさ〜



SUPER **ALEX** TROOP



関東デイラリーシリーズのご紹介

2012年に第1種アベレージラリーのみで手軽に遊べるモータースポーツの場を作りたいという思いから、前身となる茨城デイラリーシリーズがスタートしました。それから沢山の方々にご参加・ご支援を頂きましてシリーズを継続することが出来、2025年で14年目となります。

昨年2024年の関東デイラリーシリーズでは、「10秒の誤差につき1点の減点」というアベレージラリー入門向けクラスである「Cクラス」へ、例年以上に沢山のご参加をいただきました。このクラスには「初めてアベレージラリーへ参加してみたい」という方や、「青春時代を共に過ごしたアベレージラリーを久々に思い出してみたい」という方などに向けた幅がある減点設定となっていますので、トリップメーターと時計さえあれば、オール0減点も夢ではありません。

また、今年の関東デイラリーシリーズでは、トリップメーターが無い方でも安心してコマ図走行を楽しんでいただけるように、「レンタルGPSトリップメーター」プランも準備しております。既にリリースされている各種スマホ用トリップメーターアプリでもコマ図走行は楽しむことはできますが、スマホは使いたく無いけど、専用トリップメーターはちょっと・・・という方は、こちらのプランを利用して、よりラリーを楽しんでいただけるように準備しております。

シリーズ14年目となります2025年関東デイラリーシリーズでは、これまで以上にアベレージラリーを楽しんでいただけるように準備を進めてまいります。皆様のご参加を運営委員会一同心よりお待ちしております。

2025年関東デイラリーシリーズ運営委員会
関東デイラリーシリーズ事務局 担当者: 入夏高志

<http://www.day-rally.com/>



2026年関東デリラリーシリーズ共通規則書

第1章 総 則

本共通規則は2026年に開催される2026年関東デリラリーシリーズ競技会に適用される。本共通規則書に記載されていない競技運営に関する実施細目および指示項目は、各競技会特別規則書および公式通知によって示される。尚、各競技会特別規則書に記載された内容は、その指示する範囲において本共通規則より優先する。また、各競技会の競技参加者および競技運転者（乗員）は2026年JAF国内競技規則、2026年JAF国内競技車両規則、JAFの公示、本共通規則および各競技会特別規則を熟知・承認して参加するものとする。

第2章 特別規則書に記載する内容

公 示

FIAの国際モータースポーツ競技規則、並びにそれに準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則、ラリー競技会開催規定、2026年関東デリラリーシリーズ共通規則及び本大会特別規則に従って開催される。

第1条 競技会の名称

各競技会特別規則書に記載

第2条 競技種目

第1種アベレージラリー

（四輪自動車によるリライアビリティーラン）

第3条 競技会の格式

JAF公認クローズド格式競技

公認番号：各競技会特別規則書に記載

第4条 開催日程

2026年関東デリラリーシリーズ共通規則書付則に記載

第5条 開催場所および競技距離

各競技会特別規則書に記載

第6条 競技内容及び走行距離

各競技会特別規則書に記載

第7条 オーガナイザー

各競技会特別規則書に記載

第8条 大会役員

各競技会特別規則書に記載

第9条 競技会役員

各競技会特別規則書に記載

第10条 参加申込および参加料

各競技会特別規則書に記載

第11条 競技会に有効な保険

競技参加者は競技会期間中に有効な対人賠償保険（または共済等）および搭乗者保険（または共済等）に加入すること。保険内容については各競技会特別規則書に記載

第12条 競技のタイムスケジュール

各競技会特別規則書に記載

第3章 競技参加に関する基準規則

第13条 参加資格

1. クルーは、ドライバーに加え、少なくとも1名をナビゲーターとし、当該自動車検査証の乗車定員欄に記載された定員以内であれば、2名以上のナビゲーターが乗車することができる。
2. ドライバーおよびナビゲーターはいずれも競技中に運転を行ってよいが、公道上で当該参加車両を運行するに有効な自動車運転免許証および当該競技会に有効な競技運転者許可証を所持していなければならない。
3. 上記2を除く乗員の最低年齢は6歳とし、且つ身長は140cm以上とする。なお、乗員が20歳未満の場合、親権者または保護者から搭乗に関する同意書を取得しなければならない。なお、3項により乗車する乗員を「パッセンジャー」と称する。
4. クルーは当該年有効なJAF国内競技運転者許可証B以上を所持していること。但し、クローズド格式競技においてはこの限りではない。
5. 競技会当日は主催クラブのクラブ員であること。

第14条 参加車両

2026年JAF国内競技車両規則RF車両または競技会で定めた車両で、下記の条件を満たすこと。

1. 純正又は車検対応マフラーを装着していること。
2. 携行品：非常用停止表示板（三角）及び非常用信号灯をそれぞれ1個以上。

第15条 参加台数

参加台数は、原則として全クラスを通じて最大40台とする。申込台数が40台を超えた場合は、競技会組織委員会の選考により決定する。

第16条 クラス区分

クラスは以下の3クラスとする。

- Aクラス 使用機器の制限を設けない。
- Bクラス ラリーコンピューターの使用は認められない。
- Cクラス 使用機器の制限を設けない。また、当クラスの減点は第24条「減点」により、上記2つのクラスと別に定められる。
- Lクラス 販売開始年が1989年以前（1989年含む）の車両のみ参加可能とする。なお、使用機器の制限を設けない。

【ラリーコンピューターの定義】

「電気を動力とし、車両から取得された速度又は距離情報等を基に、指示速度に対する早遅を算出し、表示する機器」とする。距離や速度のみを表示するものについてはラリーコンピューターには該当しないものとする。また、手動によるもの（計算尺等）も該当しないものとする。

第17条 参加受理

1. 競技会事務局に於いて、参加者の正式受理を決定し参加者に参加受理書または参加者名簿等で通知する。

2. 参加不受理の場合は、事務諸経費2000円を差し引いて参加料を返還する。また、正式参加受理後、参加料および提出書類は一切返還されない。
3. 正式参加受理後のクルーの変更は認められない。但し、ナビゲーター及びパッセンジャーについては、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。
4. 参加車両の変更は、同一クラス内に限り競技会3日前までなら変更できる。
5. オーガナイザーは参加者に対して、その理由を明示する事なく参加を拒否する権限を保有する。

第4章 競技に関する基準規則

第18条 競技会受付（参加確認受付）

競技会受付では、参加受理書（発行された場合）、クルーの運転免許証・参加車両の自動車検査証・自動車損害賠償責任保険証（自賠責）、対人損害保険証、搭乗者傷害保険証、参加車両申告書等必要書類を速やかに提出すること。

第19条 車両検査

技術委員により参加車両の検査、サービス作業の管理およびマーキング・封印を行う。車両検査の可否の最終的な判定は技術委員長判断となる。

1. 車両検査はタイムスケジュールに従って指定の場所で受けなければならない。車両検査を受けていない場合（競技会審査委員会が不可抗力と認めた場合を除く）および車両検査不合格の場合（競技会審査委員会は規則に合致させるための限られた修復時間を与える場合がある）はそれ以降の出走はできない。
2. 出走前車両検査は第14条、および保安部品、安全装備を重点的に行う。追加走行用前照灯、前部霧灯を使用する場合は出走前車両検査時に確認を受け、その状態を維持すること。
3. ラリー終了後、指示された車両に対し最終車両検査を行う。また、競技会審査委員会または競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要とされる場合、分解を伴う検査を行う。最終車両検査の対象になった競技参加者はその指示に従うこと。その際の分解、組付けに必要な工具・部品・費用は全て競技参加者の負担とする。
4. ゼッケン番号はオーガナイザーが決定する。オーガナイザーより配布されたゼッケン（全周テーピング）、JAF公認競技会之証、広告は指定された位置に正しく貼付されなければならない。

第20条 チェックポイント（CP）

1. CPはCP看板又は白線にて明示し、看板は原則として進行方向の左側に設置され、その確認はクルーの義務とする。
2. CPには逆進入および並進入してはならない。並進入の場合、進行方向右側の車両は計時されない。
3. 競技車両は、特に指示があるCP以外において、CP発見後は速やかにCPラインを通過するものとし、CPラインより目視できる範囲において停車してはならない。停止の判断はCPライン上の通過確認オフィシャルにより判断され、一切の抗議は受付られない。停止したと判断された時点にて当該競技車両はCPラインを通過したものとし、その時間を計時される。
4. CPではオフィシャルの指示に従い、CPライン通過後、計時車付近で停車し、タイムカードの受け渡しまたはCPカードの交付を受けること。また、計時車付近で逆走

または後退をしてはならない。

5. タイムカードまたはCPカードの記入内容を確認の上、速やかに車両を前方に移動すること。
6. タイムカードまたはCPカードの記入内容に関する訂正および再発行の請求は、当該CPの計時責任者に対して直ちに行うものとし、以後の訂正・再発行は受け付けない。また、その際には後続車両の進行の妨げにならない位置に停車後、下車して行き、CP任務行為を妨げてはならず、請求に要した時間は救済されない。
7. CP及びゴールは先頭スタート車の到着予定時刻15分前までに開設し、最終スタート車の到着予定時刻の15分後に開設される。
8. CP責任者は、CP付近での違反行為・ルールや指示の無視・著しい車体や保安部品や排気系統の破損・故意の時間調整を確認した場合、リタイヤ勧告またはペナルティーを課す権限を有する。

第21条 パスコントロールポイント（PC）

ルート上にPC（指示速度変更地点）を設定し、指示速度を変更することがある。この場合の正解時間の計算は秒未満を切り捨てる。また、PCの確認はクルーの義務とし、特別な指示がある場合を除き、PCが目標物の場合は原則として進行方向の左側より設置されているものとする。

第22条 レスコンカード

1. レスコンカードはシリーズ共通のもののみ使用可能とする。
2. 交通事情等やむをえない事情により、指示速度での走行が難しい場合に使用することが出来る。
3. レスコンカードを提出した場合、提出した当該CPに対する所要時間からレスコンカードに記載された時間が差し引かれて減点計算される。
4. レスコンカードにて申請できる秒は**20秒**のみとする。分については定められた合計を超えない範囲で決めること。
5. レスコンカードは1つのCPにつき1枚のみ使用することができる。
6. 競技会特別規則書に記載されない限り、各ステージでのレスコンカードで使用できる時間の合計は15分00秒以内とする。

第23条 計時

1. オフィシャルの用意する基準時計によって計時される。
2. 計時は、原則として車両の前輪の中心がCPラインを通過した時刻を計測する。
3. CPにおける計時は、秒未満を切り捨てる。
4. **特に指示がある場合を除き、CPのスタート時刻は、当該CPで交付されたCPカードに記載された時刻に1分を加えた時刻とする。**

第24条 減点

1. 各CP区間において、正解時間と各クルーの所要時間の差に対する減点を以下の通りとする。
Aクラス・Bクラス・Lクラス 1秒につき1点
Cクラス 10秒につき1点
（例：誤差±9秒→0点 誤差±67秒→6点）
2. CP不通過車両は1箇所につき1000点。
3. コントロールシートの提出期限を過ぎた場合、1分につき10点。
4. コントロールシートの計算間違いをした場合、1箇所につき10点。

5. 1～4に定められた以外の減点を科す場合は、各競技会特別規則書に記載される。

第25条 順位決定

第23条の減点の合計（総減点）が少ないものを上位とする。総減点が同じ場合は下記の順により順位を決定する。

1. 減点0のCPが多い者。
2. 1CPの減点が少ない者。
3. 2が同減点の場合、2CP以降の減点を順次比べ、減点が少ない者が決定した時点でその者を上位とする。
4. 競技会中に使用したレスコンカードの回数が少ない者。
5. 抽選にて決定。

第26条 リタイヤ・競技の離脱

1. 競技会受付終了後、出走しない場合、また出走後、途中で棄権する場合は直ちに最寄りのオフィシャルにその旨を記した書面（リタイヤ届）をもって申告すること。提出が不可能の場合は電話等の手段で競技会大会本部に連絡すること。
2. リタイヤまたは失格となり競技を離脱する場合は、直ちにゼッケン・ラリー競技会之証および競技関係貼付物を取り除くこと。

第27条 競技内容の変更

競技中に公式通知によって前出の指示と異なる新たな指示が与えられた場合はそこに明示された範囲に限って新たな指示のみ有効とする。

第28条 競技の中断、又は打ち切り

1. 事故、故障車、災害、悪天候その他の事由により競技を中断又は打ち切りをすることがある。この場合は競技会審査委員会の裁定により行う。
2. この場合、競技参加者には直ちにその旨を伝えられ、競技参加者は速やかに最寄のオフィシャルの指示に従うこと。

第29条 罰則

参加者又はクルーが下記に該当する行為をなした場合、競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が与えられる場合がある。

1. 交通事故を起こしたとき。
2. 道路交通法に違反したとき。
3. リタイヤの申告をせず競技から離脱したとき。
4. 走行マナーおよび競技者としての態度や品行に問題があるとき。
5. チェックカード、タイムカードもしくはコントロールシートを改ざんしたとき。
6. 車両規則違反が発見されたとき。
7. 参加車両またはその構成部品に施されたマーキングや封印等に手が加えられたり、それらが失われたりしたとき。
8. 競技中にクルーまたは車両を変更したとき。
9. 参加者またはクルー、及び関係者間で不正行為があったとき。
10. その他競技役員の重要な指示に従わなかったとき。
11. 参加者またはクルーがブリーフィングに遅刻または欠席したとき。
12. 各諸規則および本規定ならびに競技会特別規則に関する重大な違反があったとき。
13. 競技ルートを故意に塞ぐことにより、他のクルーの走行を妨害したとき。

第5章 サービスに関する基準規則

第30条 サービス（整備作業）

サービス地点は原則設けられない。設けられる場合は、各競技会特別規則書に記載される。

第6章 その他の安全規定

第31条 クルーの装備

全ての乗員は、走行中は車両に純正装備されている安全ベルトを必ず装着すること。

第32条 一般安全規定

1. オーガナイザーの指示のある区間はサイドウィンドウを閉じて走行すること。
2. 事故や車両の故障及び乗員の体調不良により競技の継続が困難な状況になった場合、直ちに大会本部へ電話等でその旨を伝え、大会本部の指示に従うこと。
3. 競技車両以外の走行車両の妨げにならないように走行をすること。
4. 明らかに追い越そうとしている車両がある場合は、安全かつすみやかに進路を譲ること。

第7章 抗議

第33条 抗議

1. 参加者は自分が不当に処遇されていると判断するときにこれに対して抗議する権利を有する。ただし、本共通規則及び各競技会特別規則書に規定された参加拒否・審判員の判定・スタート順位及び道路状態に対する抗議は受け付けない。
2. 抗議申し立ては国内競技規則に従って文書によって行い、抗議料として1件につき21,200円を添え、競技長を経て競技会審査委員会に提出されなければならない。抗議料はその抗議が認められた場合のみ返還される。
3. 競技に関する抗議は競技者のゴール到着後30分以内に文書にて提出されなければならない。ただし、チェックカード及びタイムカードの記入事項に関する抗議はそれが交付された時点で1分以内に口頭で行い、記入事項の訂正を受けた場合はそのCP責任者の署名を得たもののみ有効とする。
4. 車両検査に関する抗議は判定の直後に文書にて提出しなければならない。
5. 成績に関する抗議は暫定結果発表後30分以内に文書にて提出しなければならない。
6. 役務に付いている競技役員はたとえ抗議が提出されている場合でもそれと関係なく自分の義務と権限を正当に執行できる。
7. 競技会審査委員会による抗議の裁定結果は競技会審査委員長により関係当事者のみに口頭で通知される。競技会当日、競技会審査委員会の裁定が下されない場合はその暫定発表の日時・場所を発表し延期することができる。尚、抗議は1件につき代表者1名として上記の手続きを取らなければならない

第8章 損害の補償

第34条 損害の補償

1. 参加者は参加車両及びその附属品が破損した場合ならびに第三者に損害を与えた場合、また道路施設等を損壊した場合、その責任を自己が負わなければならない。参加者

は JAF 及びオーガナイザーならびに大会役員、道路施設等の管理者が一切の損害事故の責任を免除されていることを了承しなければならない。すなわち大会役員はその役務に最善を尽くすことはもちろんであるが、もし参加者の負傷・死亡・その他車両の損害賠償などに対して JAF 及びオーガナイザーならびに大会役員、道路施設等の管理者が一切補償責任を負わない。

2. 参加者が競技中に起こしたオーガナイザーならびに大会役員車及びその器材、道路施設等との事故はいかなる場合も参加者が責任をもって賠償するものとする

第9章 シリーズポイント及び表彰

第35条 シリーズポイント

1. シリーズポイントは、シリーズに含まれる競技会に出場した者で、競技会参加申込書に記載のドライバー・ナビゲーターに対して与えられる。但し、第13条3項に定められたパッセンジャーに対しては与えられない。
2. 競技中にドライバー・ナビゲーターを交代して運転した場合、参加申込書に記載されたドライバー・ナビゲーターに対して該当シリーズポイントを与えられ、それ以外は与えられない。
3. 一つの競技会に複数のナビゲーターが乗車した場合、全てのナビゲーターに対してシリーズポイントは等しく与えられる。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ポイント	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

第36条 順位の決定

1. シリーズの順位は、第35条1～3項により与えられたシリーズポイントのうち、成立した競技会の数から1を引いた数の上位ポイントの合計を有効シリーズポイントとし、それが多いものを上位とする。
2. 有効シリーズポイントが同点の場合、以下の順にて決定されるものを上位とする。
 1. シリーズの参戦数が多いもの。
 2. 各競技会での獲得したポイントの最高点が多いもの。
 3. 開催された全競技会の合計ポイントが上位のもの。

3. 1～3で決定されない場合は、シリーズ運営委員会の裁定により決定される。

第37条 シリーズ表彰

1. ドライバー及びナビゲーター両部門に対して、シリーズポイント合計の上位6名を表彰する。但し、シリーズ参加台数を考慮し、各部門共に表彰対象者はシリーズに含まれる競技会に2戦以上出場した全参加者数の50%を超えないものとする場合がある。
2. 第35条による決定において、上位6名以内に同順位の者がいる場合、表彰対象人数を増やす場合がある。
3. 2026年当シリーズ表彰は対象者に別途、郵送・Email等により詳細を告知する。
4. 成立した競技会の数が2戦以下の場合、シリーズ表彰は行わない。

第10章 規則の解釈および施行

第38条 本規則の変更及び追加

本規則の変更及び本規則以外の規定、指示は、各競技会特別規則書あるいは公式通知により表示する。

第39条 シリーズ罰則

重大な違反をした場合、本年度のシリーズポイント及び当該シリーズ参加資格を剥奪する場合がある。

第40条 本規則の解釈

本規則ならびに各競技会特別規則書あるいは公式通知の解釈に疑義が生じた場合は競技会審査委員会の決定を最終とする。

第41条 本規則の施行

本規則は 2026年1月1日より施行する。

2026年関東デリラリーシリーズ運営委員会

参加申込書は、下記からダウンロードしてください。
http://www.day-rally.com/p/blog-page_1957.html



ラリーが好きだ!!

自然の中を駆け抜ける!

〒377-1304群馬県吾妻郡長野原町長野原982-29
 (有) オズ・インターナショナル 星野 博 TEL 0279-82-1888 FAX 0279-82-1889

HASRally

Outlet-Parts Shop

75歳老後の楽しみにラリーに出ちゃいます
勝手にドラマをつくる男2026

- ★スバル純正部品、STI商品いつでもなんでも **全品10%OFF**
- ★インプレッサのエンジンオーバーホール承ります
- ★インプレッサの中古車、不動産、事故車買います



〒123-0863 東京都足立区谷在家1-1-20
TEL 03-3854-5579 FAX 03-6914-7200 携帯 090-3137-8672
Mail: has@sea.plala.or.jp HP: <http://www.hasrally.com/>
営業時間: 12:00~20:00 定休日: イベント、出張日



ラリー参加申込について

1. 用意するもの

1.1. JAF 会員証・ライセンス

ライセンスはドライバー／コ・ドライバーともに JAF 発行の競技運転者国内 B ライセンス以上が必要です。(日本国以外の ASN 発行のライセンスの場合は主催者に問い合わせしてください) また、参加者についても JAF 発行の競技参加者ライセンスが必要ですが、ドライバー／コ・ドライバーの競技運転者ライセンスで参加者の申込は可能です。

注意! JAF 会員証の有効期限を確認してください。JAF 会員期限が切れるとライセンスは失効します。

1.2. 免許証

ドライバー／コ・ドライバーともに普通車運転免許証が必要です(コ・ドライバーについても同乗する車両を運転できる免許証が必要です)

注意①! 免許証が、停止中 / 失効中の場合は競技に参加できません。

注意②! 免許証更新時、マイナ免許証にする場合、従来の免許証も交付してもらってください。マイナ免許証だけでは、免許証の内容が確認できず、競技に参加できない場合があります。

1.3. JMRC 関東登録証

ドライバーおよびコ・ドライバーの JMRC 加盟状況とスポーツ安全保険加入状況を証明する書類です。JMRC 加盟状況を証明できないと、参加費が割増になりますので、JMRC 加盟者で未所持の場合は、所属クラブ代表者に問合せしてください。

1.4. 車検証

最新の車検証の写しの提出が必要になります。IC チップ対応車検証の場合は、IC チップ対応車検証添付書類である自動車検査証記録事項の写しも提出が必要です。

1.5. 参加予定のラリー競技に有効な保険に加入

ラリー競技に参加するには、ラリー競技に有効な保険加入が必要です。(一般的な自動車保険では、競技中、保険の適用外になります)。保険金額については、特別規則書を確認してください。

保険の加入方法は下記の 3 種類

- A. 参加者が保険会社へ申込、保険に加入。
- B. 競技主催者が用意する保険に加入。(主催者によっては用意しない場合あり)
- C. JMRC 関東ラリー共済に加入。
(JMRC 関東ラリー共済については、保険に関するページを参照してください)
- D. 全国ラリー共済(旧名称: 関東・東北ラリー共済)に加入。
(JMRC 関東ラリー共済については、保険に関するページを参照してください)

上記 B. および C.D. については、申込書に記入して申込時に提出になりますが、A. の場合は、保険契約内容がわかる保険証券の写し、または保険内容証明書等の写しの提出が必要になります。

1.6. 参加する競技会の特別規則書

特別規則書には、

- ・ 申込期間
- ・ 申込先
- ・ 申込に必要な提出物、提出方法
- ・ 参加費及び参加費の支払い方法

が記入されていますので、必ず手元に入手して、上記内容を確認してください。

BMKsport

競技車輛製作・鈑金塗装・メンテナンス

株式会社BMKsport

青森県弘前市蒔苗野田5 1-6

TEL 0172-97-2738

Mail info@bmk-sport.com



競技車輛製作 / メンテナンス /
一般整備など
実戦で培ったノウハウで勝てる車を作ります。

モータースポーツショップ

Ayabe

宮城県仙台市宮城野区福室字小原 2-19-1
営業時間 10:00 から 19:00 営業日 不定休
電話 022-259-6633 FAX 022-259-6698
m.ayabe@mss-ayabe.com

1.7. 参加申込書

JMRC 関東ラリー一部会共通申込書は 2025 年より変更になりました。
共通申込書は下記の 5 種類。

- ・参加申込書
- ・JMRC 加盟状況 / ラリー保険申告書・申込書
- ・ライセンス・運転免許証・共済等の写し
- ・車載カメラ申請用紙
- ・誓約書

上記、5 種類の書類は JMRC 関東ラリー一部会ホームページ書面による申込 (<https://x.gd/Z41Fr>) よりダウンロード可能です。

主催者によっては、他に書類が必要になる場合があるので、必ず参加予定の競技会の特別規則書を確認してください。



ダウンロード先
QR コード

2. 参加申込書記入方法

2.1. 参加申込書記入に関する注意事項

参加申込書とは、参加者の情報をラリー主催者へ伝える手段であり、情報が主催者へ伝わって初めて参加申込が成立する行為です。申込書への記入されている文字が認識できない、必須記入欄に空欄がある等があると、必要な情報が主催者へ伝わらず、主催者での参加申込処理が行えず、状況によっては不受理になることもあります。

参加申込書の記入欄へは認識できる文字で空欄なきようお願いいたします。

尚、PDF ファイルへの入力には、Adobe 社の Acrobat または Acrobat

Reader(<https://get.adobe.com/jp/reader/>) を使用して下さい。他のアプリでの入力は、データが消失する場合があります。主催者で受け取った参加申込書が未記入状態で情報が読み取れない場合があります。また、手書き記入した場合、書き方によっては、主催者側で誤認識する場合がありますので、極力、Acrobat または Acrobat Reader を使用して入力してください。



AcrobatReader
ダウンロード先
QR コード

2.2. 参加申込書の記入方法

- ・日付記入欄→申込日（申込書提出日）を記入。
- ・競技大会名→特別規則書に記載されている大会名を記入。
- ・参加クラス→特別規則書に記載されてるクラス分けの中で参加するクラスを記入。
- ・チーム名→20 文字以内で品位を損なうことのない名称を記入。
- ・参加者→参加者ライセンスを所持していない場合は、ドライバーまたはコ・ドライバーのどちらか参加者を兼ねる方をチェック。参加者ライセンスを所持している場合は、参加者にチェックし、参加者名称と参加者ライセンス番号を記入。
- ・ドライバーデータ / コ・ドライバーデータ→必ず、全ての記入欄に記入してください。住所は都道府県から。
- ・ドライバー競技出場経歴→直近の出場経歴を記入、主催者が出走順を決めるのに参考にします。4 大会以上記入したい場合は、別紙（フォーマットは自由）に記入して添付してください。
- ・車両データ→参加車両名称はチーム名と同じで、品位を損なうことのない名称にすること。車名、型式、登録番号、初度登録年月は、車検証をもとに記入すること。総気筒容積の単位は CC です。過給機等の係数がある場合は、係数をかけた値を記入してください。車両分類は、分類によって改造範囲が違いますので、気をつけてください。
- ・競技会当日までの連絡先→当日までの期間、主催者からの連絡先をドライバー、コ・ドライバー、その他から選択（丸をつける）。その他の場合、氏名、電話番号、E-Mail アドレスを記入。ドライバーまたはコ・ドライバーの場合は、上記、ドライバーデータ / コ・ドライバーデータの連絡先に連絡します。

2.3. JMRC 加盟状況 / ラリー保険申告書・申込書の記入方法

JMRC 加盟状況 / ラリー保険申告書・申込書は、ドライバー / コ・ドライバーの JMRC 加盟状況を記入する

部分とラリー保険の契約状況またはラリー保険の申込に関する部分があります。

ドライバー／コ・ドライバーの JMRC 加盟状況を記入する部分は、ドライバー／コ・ドライバーの所属クラブの情報、JMRC スポーツ安全保険加入状況、JMRC 見舞金制度加入状況について記入してください。(JMRC スポーツ安全保険加入状況、JMRC 見舞金制度加入状況について不明な場合は、所属クラブ代表者に確認してください)

ラリー保険の契約状況またはラリー保険の申込に関する部分は、まず、“個人で加入”、“オーガナイザーに依頼”、“JMRC 関東ラリー共済に加入”、“全国ラリー共済に加入”のどれかにチェックしてください。

- “個人で加入”の場合、契約している保険の情報を記入して、保険証券の写しまたは保険契約内容証明等の保険の契約内容がわかる書類を添付してください。(保険内容が確認できない場合、出走を拒否される場合もありますので、必ず保険の契約内容がわかる書類を添付してください。)
- “オーガナイザーに依頼”の場合、主催者の用意する保険の条件を確認の上、「オーガナイザー依頼保険」欄に記入してください。
- “JMRC 関東ラリー共済に加入”または“全国ラリー共済に加入”の場合、JMRC 関東統一規則書の JMRC 関東が扱う保険についてのページを確認の上、「JMRC 関東ラリー共済」欄または「全国ラリー共済」欄に記入してください。

2.4. ライセンス・運転免許証・共済等の写しの記入方法

ライセンス・運転免許証・共済等の写し用紙は、ドライバー／コ・ドライバーの競技運転者ライセンス、運転免許証、JMRC 関東登録証の画像データを貼り付ける用紙です。

JMRC 関東ラリー部会のホームページよりダウンロードできるファイルは、PDF ファイルタイプと Word ファイルタイプの2種類が有りますので、使いやすい方をお使いください。

尚、主催者によっては、Web アプリ (DropBox, Google 等) を使って提出を求める場合がありますが (Web アプリの使い方は主催者に問合せください)、その場合は、本用紙の提出は不要です。

2.5. 車載カメラ申請用紙の記入方法

車載カメラを使用する場合、必ず車載カメラ申請用紙に記載されている 1～4 を承知の上、車載カメラ申請用紙に登録 (使用) する車載カメラ、車載カメラ映像提供先届 (映像の使用目的) を記入して提出してください。車載カメラを使用しない場合、車載カメラ申請用紙の登録する車載カメラの商品名に“使用しない”と記載して提出してください。

注意！大会期間中に参加者が撮影した映像は主催者に帰属します (リタイヤした場合のリタイヤ後の映像も含む)。映像を公開、譲渡する場合は必ず、主催者の同意を得てください。

2.6. 誓約書の記入方法

誓約書は、参加者 (参加者ライセンス有りの場合) / ドライバー / コ・ドライバーが競技参加に対する誓約をする (誓約内容は誓約書を確認して下さい) 書面で、参加者 (参加者ライセンス有りの場合) / ドライバー / コ・ドライバー各自本人が署名し、競技会当日の受付時に署名した書面を提出して下さい。
(参加申込時に誓約書の提出は不要)

- 参加申込記入に関して、より詳細な情報が JMRC 関東ラリー部会ホームページ書面による申込 (<https://x.gd/Z41Fr>) に有りますので、そちらも参考にして下さい。



JMRC 関東ラリー部会
書面による申込ページ
QR コード

ラリーの保険・共済について

自動車任意保険等については一般的な内容や取り扱いです。
 保険会社や年度の改定により内容や取り扱いが異なる場合がありますので、より具体的な情報については必ず各自が契約している
 保険会社や代理店に照会してください。

＜ラリー参加に必要な保険の種類＞

ラリー参加に必要な保険は下記の3つになります。

- ①対人賠償保険
 - ②対物保険
 - ③搭乗者保険（人身傷害保険）
- ※規則では、②の対物保険に加入義務はありません。
 ※主催者が独自に競技会特別規則により、最低保険金額等を設ける場合があります。

①対人賠償保険とは？

自動車事故で他人を死傷させてしまい、法律上の損害賠償責任（治療費、慰謝料など）を負った際に、その賠償金を支払う保険です。

車の外にいる他人（オフィシャル、観客等）と車内のコ・ドライバーが対象になります。

※ドライバーは補償対象外で、コ・ドライバーがドライバーの親族の場合等他人とみなされない場合は補償対象外となります。

②対物保険とは？

自動車事故で他人の車・建物・電柱・ガードレールなどの「他人の財物」を壊してしまい、法律上の損害賠償責任を負った場合に、その修理費用などを補償する保険です。

自分が運転する車「自分の財物」は補償対象外になります。

③搭乗者（人身傷害保険）保険とは？

自動車事故で契約車に乗っていた人（運転者・同乗者全員）が死傷した場合に支払われる保険で、クルー（ドライバー及びコ・ドライバー）の死傷が対象になります。

※搭乗者保険と人身傷害保険の違い

近年、搭乗者保険ではなく、人身傷害保険が一般的になっています。

保険の対象は同じですが、支払額の計算方法が異なります。搭乗者保険は「定額払い」で人身傷害保険は「実損払い」になります。

●任意保険は競技では使用できない？

一般的な任意保険では競技や曲技での使用は対象となっていません。特約などを追加付帯することで有効となりますが、最近では保険料の高騰等引き受け条件が厳しくなっている上、一度の請求後は加入できないなど、出場への大きな障害となっています。

ご自身が加入している保険会社にご確認ください。

＜JMRCなどが用意する共済・保険＞

任意保険が競技で使用できない場合、別途、保険に加入する必要があります。そのため、下記の共済、保険が用意されています。

	保険区分	対人	対物 (免責)	搭乗者 (死亡)	搭乗者 (入院)	掛金
A	JMRC関東ラリー共済	500万円	30万円 (10万円)	×	×	5千円
	JMRC東北ラリー共済	100万円	30万円 (10万円)	×	×	5千円
B	全国ラリー共済	400万円	50万円 (10万円)	400万円	×	1万円
C	スポーツ安全保険	×	×	2000万円	4000円/日	3千円*
D	JMRC関東見舞金	×	×	500万円	×	3千円
	JMRC東北共済	×	×	500万円	3000円/日	1千円

*JMRC関東の手数料含む

A：JMRCラリー共済

全国各地のJMRCで運用している共済で、①の対人、②の対物を補償します。

※いずれも補償金額は低く、クルーは補償外です。

※他競技車への対物は補償外です。(リタイヤ車への接触等)

B：全国ラリー共済

東日本戦務事務局が運用する共済で、①の対人、②の対物、③の搭乗者を補償します。

※搭乗者（クルー）については死亡しか補償されず、ケガは補償外です。

※他競技車への対物は補償外です。(リタイヤ車への接触等)

C：スポーツ安全保険

保険会社が運用する団体保険で、③の搭乗者（クルー）を補償します。年間の加入で、競技以外でも補償されます。(団体活動中等の制限あり)

※個人に対する補償のため、ドライバー、コ・ドライバーが夫々、加入する必要があります

D：JMRC関東見舞金、JMRC東北共済

JMRC関東、JMRC東北で運用している共済（見舞金）で、③の搭乗者（クルー）を補償します。

個人に対する補償のため、ドライバー、コ・ドライバーが夫々、加入する必要があります

※地区により共済ではなく、見舞金、互助会と呼ぶ場合があります。

※AとDの名称は似ていますが、

A：JMRCラリー共済は、対人・対物への補償

D：JMRC共済（見舞金）は、搭乗者（クルー）への補償

＜ラリー参加のために＞

以下の組み合わせで参加が可能です。
 補償内容と費用を考え、加入してください。

1. ご自身の任意保険+ラリー特約

※高価で、かつ加入できないことが多いですが、補償内容（任意保険と同じ条件）が充実します。

2. A：JMRCラリー共済+C：スポーツ安全保険

3. B：全国ラリー共済+C：スポーツ安全保険

※対人賠償、対物及びクルーの死亡、ケガを含みます。

★対物補償を増額したい方は、3の選択。

4. A：JMRCラリー共済+D：JMRC共済(見舞金)

5. B：全国ラリー共済

※対人賠償、対物及びクルーの死亡を含みますが、クルーのケガは含みません。

★対物補償を増額したい方は、5の選択。



新車・中古車販売・修理・板金・車検整備・保険
車のことならお任せください！



競技色が強くございますが、
車両販売や一般整備まで車に
関することは何でもやってお
ります。
どうぞ！お気軽にご来店を！
スタッフ一同心よりお待ちしております。



千明自動車

桐生市新里町山上2262-5
☎0277-74-6655

JMRCについて

■JMRCとは？

JMRC(JAF MOTORSPORTS CLUBS REGIONAL CONFERENCE)とは、JAFに登録されたモータースポーツクラブで構成される地域協議会です。全国を8地域(A地区:北海道、B地区:東北、C地区:関東、D地区:中部、E地区:近畿、F地区:中国、G地区:四国、H地区:九州)に区分し、それぞれの地域にJMRC組織が設けられています。

JMRCは、地域内クラブの連携を図り、JAFとクラブを結ぶ窓口として、地域に根ざしたモータースポーツ活動の円滑な運営と発展を支える組織です。

■JMRCの役割

JMRCの役割は、地域におけるモータースポーツ活動を安全かつ円滑に行うための基盤を整えることです。地域内クラブの連絡調整と情報共有を行い、競技会の日程調整や運営上の課題を協議することで、重複開催や混乱を防ぎます。

また、JAF競技規則や通達を正確に伝達し、地域内での解釈や運用の統一を図ることで、公平で円滑な大会運営を支えています。

さらに、共済制度や保険制度の管理・案内を通じて、選手やオフィシャル、クラブ員が安心して競技や運営に取り組める環境を整えるとともに、講習会や勉強会の開催を通じて人材育成やモータースポーツの普及にも貢献しています。

■JMRCに加入しよう！

JMRCへの加入は、クラブだけでなく、個人にとっても大きなメリットがあります。JMRCに加盟するクラブに所属することで、選手やオフィシャル、サポートスタッフは、地域モータースポーツの正式な枠組みの中で活動することができ、JAF公認競技への参加や運営に円滑に関わることが可能となります。

競技活動中やクラブ活動中の万一の事故に備えた共済制度・保険制度を利用できる安心感が大きな魅力です。また、JMRCが主催・後援する講習会や勉強会を通じて、競技規則や運営知識を体系的に学ぶことができ、選手としてのステップアップや、オフィシャルとしてのスキル向上にもつながります。

さらに、JMRCのネットワークに参加することで、地域内の多くの仲間と交流し、情報や経験を共有できる点も大きな利点です。モータースポーツを「参加する立場」から「支え、育てる立場」へと視野を広げるきっかけにもなります。

JMRCへの加入は、個人の挑戦と成長を支え、地域モータースポーツの未来を共につくる第一歩です。

ラリーで培う“判断”を、ドローン運航の安全へ。

事業でドローンを使うなら「安全の型」から。

国家資格

CRM

SMS

応急手当

この広告
ご覧の方
限定

DOSA千葉校の
講習受講料 **5** % OFF

FLY SAFE

運営：株式会社ダイヤサービス
住所：千葉県千葉市花見川区朝日ヶ丘5-27-28畑町ビル3階
電話：043-310-3454
Email：info@daiyaservice.com



特設ページで
詳細を確認

What is rally ?

ラリーは、サーキットを走るレースとは異なり、一般公道を使用し、いろいろな路面環境のなかで速さを競うモータースポーツです。ドライバーとコ・ドライバー（ナビゲーター）の2名乗車であることが、他のカテゴリーとは違う大きな特徴となっています。（アベレージラリーでは3名以上が乗車することもあります）

●ラリーの種類

●スペシャルステージ（SS）ラリー

WRCをはじめ世界中で行われている、現在主流の形式です。道路を完全に封鎖（占有使用）したスペシャルステージ（SS）区間で1台ずつタイムアタックを行い、その合計タイムで順位が決まります。関東ラリーカップや地区戦もこの形式です。SSは速さを競う区間ですが、リエゾンと呼ばれる各SS間の移動は普通の道路を一般車と混じり交通法規を守って決められた所要時間で走行します。

●アベレージラリー

速さを競うのではなく、制限速度範囲内で指示された速度により指定のルートを走り、どこにあるかわからないチェックポイントをどれだけ正確な所要時間で通過できるかを競う形式です。関東デイルリースリーズはSSを含まない「第1種アベレージラリー」の形式で開催されています。

●ラリーで走る路面

SSラリーでは、山岳路を中心にさまざまな路面のコースが設定されます。最も多く使用されているのがターマック（舗装路）ですが、グラベル（未舗装路）や、冬季にはスノー（雪または氷）を走るイベントがあることも、他のカテゴリーには無いラリーならではの特徴です。ターマックのみ、グラベルのみなど、使用する路面を限定して開催しているシリーズもあります。

●ラリーで使用する車両

ラリーで使用する車両はすべて量産車をベースとしています。カラーリングを施されたクルマも多いですが、全日本選手権の一部のクラスを除き、通常車検に合格してナンバープレートを交付された車両です。ベース車に安全装備などを追加した競技車は競技の格式やカテゴリーで改造可能な範囲が決められており、出走前の車両検査で厳しくチェックされます。スポーツカーばかりと思われがちですが、街でよく見かけるコンパクトカーがベースになっていることも多いです。なお、アベレージラリーには競技用の車両だけでなく、普段使用している自家用車でも参加できます。



motorsportparts.jp

<http://www.motorsportparts.jp> info@motorsportparts.jp

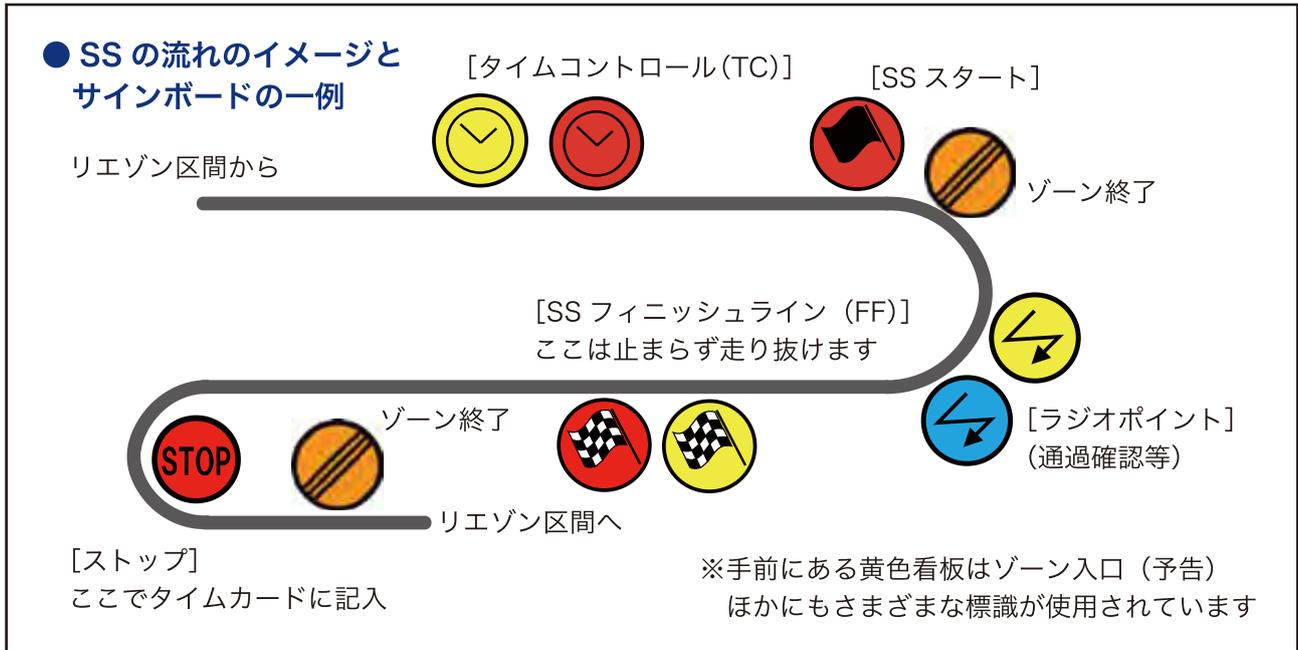
SSラリーの流れ

SS ラリーでは、あらかじめ決められた下見（レッキ）でペースノートを作成し、本番のSSでドライバーがコ・ドライバーが読み上げるペースノートを読みながら走ります。

また、コ・ドライバーはリエゾンでのナビゲーション（道案内）をはじめタイムコントロールに入る時間の管理やラリー中のスケジュール管理など、競技全体のマネジメントの役割も担います。

SS ラリーでは、すべての行程の所要時間が細かく決められており、その指定時間通りに通過していることをチェックする場所が「タイムコントロール（TC）」です。

TC、SS スタート、ストップで、あらかじめ配布されている「タイムカード」に時刻を記入してもらいます。



スタート→リエゾン→タイムコントロール（TC）→SS→リエゾン・・・ラリーフィニッシュ



この流れを何回か繰り返します。

このほかサービス（食事や整備のための中継地点）なども設置されています。

LATEST-SYSTEM
株式会社レイティストシステム

製造現場の自動化・省力化を、確かなFA技術で。

人手不足・作業ばらつきを解消する、検査・生産ラインの最適化ソリューション。

自動化・省力化FAシステムの設計・開発

画像処理による検査工程の無人化

現場に合わせたカスタム一体提案



株式会社レイティストシステム
TEL : 022-781-8823
<https://www.latest-system.co.jp>

(((Rallytech)))



ラリーテックワークス 〒334-0062 埼玉県川口市榛松 2-8-3
TEL 048-280-1485 ☒ info@rtw.jp

— RALLY FRIENDS —
HOT-MILK
— TOKYO —

JAF準加盟クラブ

ラリーフレンズホットミルク

☆会員募集中! 初心者・女性歓迎!
☆競技参加を1からサポートします!

SSラリー 競技車両の安全対策

JMRC 関東地域で行われる競技車両の乗員への安全対策は JAF の国内競技車両規車両規則や細則などで取り決められています。少々分かりづらいため抜粋してわかりやすく説明したいと思います。

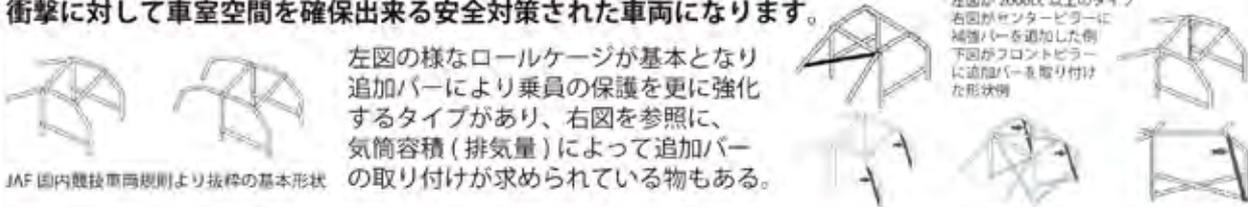
タイムトライアルを行う国内で開催されるラリー競技に求められる安全規定は国際自動車連盟に準拠している部分が多く世界基準の安全対策を求められた乗員保護の為に規則となっており、一般車両では考えられないほど高強度な物となる安全対策が行われます。数例の安全対策をピックアップし、紹介したいと思います。

ロールバーを車内に組むことによりノーマル車両より何倍も衝撃に対して車室空間を確保出来る安全対策された車両になります。

左図が 2000cc 以上のタイプ
右図がセンターピラーに補強バーを追加した例
下図がフロントピラーに追加バーを取り付けた形状例

左図の様なロールケージが基本となり追加バーにより乗員の保護を更に強化するタイプがあり、右図を参照に、気筒容積(排気量)によって追加バーの取り付けが求められている物もある。

JAF 国内競技車両規則より抜粋の基本形状



シートベルトをより安全なフルハーネスタイプの物を着用。更にもしもの衝突時に乗員の頸椎損傷を少なくする目的に FHR システムの装着も標準化されて来ました

右図のヘルメットと FHR システム (HANS) を利用することにより、前方に衝突した際、シートベルトとヘルメットだけでは頸椎を損傷する可能性が高いため、シートベルトにて身体に固定された HANS より伸びたバンド(テザー)がヘルメットの移動を抑制し、選手の首が衝撃により伸びることを防止し、致命傷になることを防止します。また、ベルトもスリ上がり防止のために 6 点式が増えています。



その他にも乗員を守る様々なアイテム

レーシングスーツ
国際自動車連盟 (FIA) の公認するレーシングスーツは格好良いスタイルだけではなく、もしもの時の機能がしっかり備わっています。耐火性は当然ですが、しっかりしたベルト類は気を失ったクルーを救出する際に肩ストラップやベルトを使って救出作業を容易な物と出来ます。

車載型消火器
競技車両には消火器も搭載され、火が出たときの初期消火に非常に有効です。

OK・SOS サイン
競技車に搭載義務。トラブル発生時に後続の車に提示し状態を容易に知らせる。



ラリー 競技開催の安全対策

ラリー主催する側においても、様々な安全対策が実施されています。コースへの要所要所へのオフィシャルの配置は重要でラリー競技運営に様々な場所に配置され競技の安全のための配慮を行っております。1 本の林道で距離や枝道等で配置数が変わりますが、20 人程から 50 人程が配置され全日本以下の東日本戦や県シリーズ等では総勢 100 人から 150 人程度のスタッフが実働します。

最近のラリーでは新しいツールが使用される様になりましたので紹介します。

RALLYSTREAM (ラリーストリーム)
現在、さまざまなイベントで採用されている新しい施策として、スマートフォンの電波と GPS 機能を活用し、競技車の走行位置やトラブル発生時の状況をリアルタイムで大会本部 (HQ) に送信できるシステムです。スマートフォンの各種機能を利用することで、迅速な情報共有が可能になります。このシステムは、全日本ラリー選手権や TGR ラリーチャレンジで使用され、2022 年からは群馬ラリーシリーズ、2023 年からは東日本ラリー選手権、2024 年からは各地区のラリー選手権でも導入されています。携帯の電波が届く範囲に限られるものの、主催者だけでなく参加クルーにも情報が共有され、安全管理や危機管理において非常に有効なツールとなっています。非常に便利で優れたシステムですが、現在の課題として、利用料金が主催者の経費負担増となる点があり、これを解決するためにさまざまな施策が検討されています。

STARLINK (スターリンク)
KDDI がサービス提供を行っている衛星を使ったデータ通信システムで、携帯電話の圏外で行われる事の多いラリー SS コースでは、ラリーストリームの機能がスポイルされてしまいます。そこで、衛星データ通信の出来るスターリンクをコラボして使用し、より競技車両の状況を把握するための方法をテスト中です。

MOSRA (モスラ)
モータースポーツの為に専用電波周波数で運用できる無線機でこれ 25 年は実績のある無線機ですが、近年出力が倍になった無線機も登場し、安全管理のための無線機が安定した物になってきました。

JN-2 クラス MORIZO Challenge Cup
CUSCO WinmaX DUNLOP GR Yaris



EI CUSCO SPORT TN.R 減衰力 24x2Way

クスコスポートティーエヌアール

本気でタイムを削るための2Way減衰力調整

- 別タンクなしで伸/圧減衰力の独立制御を実現
伸側：24段 / 圧側：24段
- 単筒式ショックアブソーバー
- 倒立式ショックアブソーバー（フロント）
- ピロアッパーマウント標準装備
- フロントロウブラケットキャンバー調整式

ノーマルのゴムブッシュマウントをピロボール化することで、不要な動きを抑制しシャープかつダイレクトなハンドリングを実現します

センターロックピロボールアッパーマウント（別売品）



後期用 SPORT TN.R フロントイメージ

EI CUSCO SPORT X 減衰力 24x3Way

クスコスポートエックス

1/1000秒を削る勝つためのコンペティションスペック

- 緻密なセッティングを可能にする3Way減衰力調整
伸側：24段、圧側：低速24段 / 高速24段
- 容量アップを可能にする5タンク式構造
- 単筒式ショックアブソーバー
- 倒立式ショックアブソーバー（フロント）
- ピロアッパーマウント標準装備
- フロントロウブラケットキャンバー調整式

CUSCO SPORT X フロント用



伸側 24段調整 圧側 低速24段 / 高速24段

EI CUSCO SPORT G 減衰力 24x2Way

クスコスポートジー

- 単筒式大容量ショックアブソーバー（アッパーマウントレス）
- 倒立式ショックアブソーバー（フロント）
- 高性能コーナリングレブ式 前・後減衰力24段調整
- フロントロウブラケットキャンバー調整式
- 完全受注製作：購入時に減衰、ストロークの指定可能
※スプリングはキットに含まれません（別売設定）
- ※JAF公認競技クラス向けに修正形状アッパーマウントに対応
※センターロックピロアッパーマウント（別売）に対応



フロント



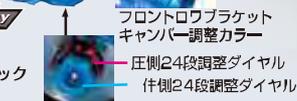
スタビライザー（フロント・リヤ） ☆後期 OK

フロント：税込価格 ¥41,800（中実φ25）
リヤ：税込価格 ¥40,700（中実φ23）



調整式ピロスタビリンク リヤ ☆後期 OK

ピロボール化したボールジョイントと、ピロカラーホルダー構造による剛性アップ
角度変化をミリ単位で調整可能
税込価格 ¥31,900



フロントロウブラケットキャンバー調整カラー
圧側24段調整ダイヤル
伸側24段調整ダイヤル



ジムカーナターマック競技用



ラバー、タートリアルグラベル競技用
フロントロウブラケットキャンバー調整カラー



ダイレクトイグニッションコイル

シングルスパークに対し4回のスパークを1/1000秒単位で発生させるマルチスパークで着火性能を大幅アップ
税込価格 ¥74,800（3本セット）
☆後期 OK



大容量ブレーキダクト

ブレーキダクト吹出口断面積を純正の2倍に拡張し冷却性能を向上
カーボンファイバー入り素材採用
税込価格 ¥72,600

ピロボールブッシュ各種

税込価格 ¥28,600〜（左右1セット）
☆後期 OK

製品名	タイプ	税込価格
車高調整サスペンションキット		
CUSCO SPORT G（競技専用用品）	ジムカーナ、ターマック競技用	¥294,800
	ラバー、タートリアル、グラベル競技用	¥294,800
CUSCO SPORT X ☆後期用設定あり	減衰力 24段調整 ×3WAY	¥246,800
CUSCO SPORT TN.R ☆後期用設定あり	減衰力 24段調整 ×2WAY	¥404,800
CUSCO SPORT R ☆後期用設定あり	減衰力 24段調整	¥338,800
センターロック・ピロボールアッパーマウント（左右1セット）		¥44,000

ガードシステム

フルガード（ワンタッチ脱着タイプ）	17S材、板厚5mm	¥132,000
フロアガード	52S材、板厚3mm	¥77,000
タンクガード ☆後期 OK	52S材、板厚3mm	¥55,000

LSD Type-RS / MZ

※LSDの効きの強さはご注文時に変更することができます

フロント用 Type-RS / MZ ☆後期 6MT OK	1Way カム角 35° or 45°	¥209,000
※スペックFの設定もあります	1.5Way カム角 35/20° or 45/20°	¥209,000
	1Way カム角 45°	
	1.5Way カム角 55° / 20°	¥132,000
リヤ用 Type-RS / MZ ☆後期 OK	1.5Way カム角 55° / 20°	
	2Way カム角 55/55°	¥132,000



ASX 公認ロールケージ



オーストラリア製

PWR アルミラジエーター

- コア厚 32mm ●コア容量 23%アップ
- ロードデンプルチューブ & 高密度メッシュフィン構造
- アルミニウム製 ●無塗装シートメタルタンク
- 取付時、切断などの加工は一切不要

税込価格 ¥327,800



フルガード



オーストラリア製

PWR インタークーラー

- コア厚 68mm ●冷却効率が83%向上
- 圧力損失低減構造の55mmアルミチューブ&フィンコア
- 純正比で吸気温度が25%改善
- 取付時、切断などの加工は一切不要

税込価格 ¥272,800



リヤ用

フロント用



銅セット ☆後期 OK

税込価格 ¥79,200
銅セット ☆後期 OK
税込価格 ¥82,500
銅セット ☆後期 OK
税込価格 ¥82,500
銅セット ☆後期 OK
税込価格 ¥82,500



軽量ブレーキキャリアブラケット フロント

●アルミビレット削り出し
●1.0kg 軽量化
重量：1.15kg（純正+1.0kg）
税込価格 ¥50,600



軽量ブレーキキャリアブラケット リヤ

●アルミビレット削り出し
●0.51kg 軽量化
重量：0.39kg（純正+0.51kg）
税込価格 ¥37,400



軽量リヤデフマウントブラケット

●アルミビレット削り出し
●0.66kg 軽量化
重量：0.63kg（純正+0.66kg）
税込価格 ¥35,200



軽量エンジンマウントブラケット

●アルミビレット削り出し
●0.77kg 軽量化
重量：0.91kg（純正+0.77kg）
税込価格 ¥55,000

製品名	タイプ	税込価格
ロールケージ		
SAFETY21	2/4名乗車、リヤ4P	¥69,300
	2名乗車、リヤ5P	¥92,500
	2/4名乗車、ダッシュ貫通6P	¥104,500
	2名乗車、ダッシュ貫通7P	¥121,000
	2名乗車、ダッシュ貫通8P	¥134,200
	2名乗車、ダッシュ貫通9P	¥145,200
2名乗車、ダッシュ貫通10P	¥156,200	
ASX 公認ロールケージ ☆後期 OK	メインアーチ、フロントケージ、メインクロス、Fサイドクロス、ハーネスバー、その他 ※取扱い限定品	¥435,600
トヨタ純正 GR ロールバー用	TGR ライヤーチャレンジャー E4 クラスに参戦可能になります	
斜行バー追加キット	トヨタ純正 GR ロールバー 品番 619A0-52020（サイドバー付仕様）	¥56,000



GR86 / 86 / BRZ 用クイックシフト

心地よいシフトフィーリング
スピーディーで正確なシフトワークを実現
CR86（ZN8） / BRZ（ZD8）用
税込価格 ¥217,800
86（ZN6） / BRZ（ZC6）用
税込価格 ¥217,300



CUSCO ウェブサイト



<https://www.cusco.co.jp>

株式会社キャロッセ 群馬県高崎市新保町1664-1 T 370-0018
Phone (027) 352-3578 (代) Facsimile (027) 352-1919

ラリーセミナー

JMRC関東ラリー部会では、年3回、各都県支部によりラリーセミナーを開催しています。それぞれの県支部が情報共有を図りながら、独自の内容で実施しており、いずれもラリーへの参戦や主催運営の経験が豊富なベテランのメンバーが講師を務めます。

セミナー内容例（前年までに実施した内容ですので、実際の内容とは異なる場合があります）

●12月頃 東京ラリー部会主催 「ラリー体験会」（入門）

- 対象：これから競技やオフィシャルを始めたい方
- 内容 午前：B級ライセンス講習会
この講習を受講することで、JAF運転者国内Bライセンスを取得することができます。
- 午後：ラリー体験会
座学による講習と、実際にルートブックを使った本格的な模擬ラリーによりラリーの流れを体験します。
(特別な装備は不要、普段乗っている乗用車で参加OK)

●2月頃 神奈川ラリー部会主催 「ラリー講習会」（初歩）

- 対象：ラリーに参加してみたい方、参加経験が浅い初心者の方
- 内容 午前：ラリーの基本についての座学
ラリーのルールや緊急時の対応安全装備などについて、ラリーの流れにそって説明します。
- 午後：ペースノート講習
ペースノートについて、用語や作成方法についての講習です。
(実車を使用しての模擬ラリーは実施しません)

●3月頃 群馬ラリー部会主催 「ラリーセミナー」（初級・実技）

- 対象：ラリーへの参戦を考えている方、参加経験はあるがルールのおさらいをしたい方など
- 内容 午前：ラリーの基本についての座学
ラリー保険、車検、SS内で前走車や自分がクラッシュした時の対応
ハンスなどクルーの安全装備の正しい付け方、TCカードの書き方・TCへの入り方
選手がミスしやすいルール、公式通知とは、etc ※HANSの試着も！
- 午後：模擬ラリー実技
実車を利用して、実際のラリーに近い内容での模擬ラリー。
(SS区間も低い速度で走行します)

いずれも開催時期に合わせてJMRC関東ラリー部会や各県ラリー部会のホームページに告知を掲載します。これからラリーを初めてみたい方やラリー初心者はもちろん、ブランクがあって最新のルールに不安がある方、オフィシャルとしてラリーの主催に関わってみたい方にもオススメです！



乗用車向けのタイヤの取付・組み換え・販売

ネット購入の商品もOK。タイヤだけ、ホイールだけ、タイヤホイールセットも対応いたします。

用途に合わせたタイヤを選び、バランス調整。お気軽にご相談ください。

GARAGE FIELD

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-44-11
TEL:050-3697-1515

※月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:30～16:30

<https://garage-field.com/>

MAPLE A-ONE Gage



価格 ハーフセット
22,000円(税込)~

- 持ち運びに便利な A1 ゲージは 1 人でも測定可能!
- 歪んだホイール・左右サイズの違うホイールでも OK
- 測定値を見ながら調整可能!

A-ONE Gage Custom



価格 ハーフセット
26,400円(税込)~

- サーキットなどで前後一気に測定
- キャンバー9°まで測れるイニキャンもOK
- 目盛りが大きく見やすくなった
- クイックアダプター使用で13インチ~19インチまで使える

A-ONE Gage OPTION

◆ Toe-Camber Quick adaptor

トー・キャンバー クイックアダプター



1 Set ¥ 2,640(税込)

2006年11月以降の本体に取り付けられます

◆ Wide Tread Support

ワイドトレッドサポート



フルSet (6本) ¥ 33,000(税込)

ハーフSet(3本) ¥ 16,500(税込)

単品(1本) ¥ 5,500(税込)

サポートロッド S-Lに取り付け可能な延長ロッド



<http://www.maplesport.com>



メープル スポーツ

〒321-2116

栃木県宇都宮市徳次郎町 2152

TEL/FAX 028-665-8160

E-mail shop@maplesport.com

HK SERVICE



感謝

ショップ名
代表者

HKサービス
信田政晴

茨城県結城市結城7536-2

TEL: 0296-32-7635 FAX: 0296-32-7657



2025年 JMRC関東ラリーカップ 上位入賞者

(表彰対象車のエントラントを記載 敬称略)

■クラス1 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	中村 一朗	TeamKachi	167
2	渡辺 謙太郎	RRCK	92
3	中島 紀子	kuni's.m.s.c	64
4	宮崎 克巳	RT- はと車	63
5	後藤 英隆	CMSC 福島	56
6	上原 利宏	T.F.T	51

■クラス2 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	山田 一雄	CB,F,C	116
2	石城 健司	SHAFT	101
3	佐藤 史彦	if	54
4	藤田 勝正	MAPLE	45
5	濱井 義郎	CB,F,C	45
6	岡本 雄一郎	PRESTIGE	43

■クラス3 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	細谷 裕一	MAPLE	188
2	内田 正樹	T.F.T	82
3	佐藤 慧	G-CLUB	72
4	大山 忠信	Luft MSC	57
5	藪本 啓介	HOT-MILK	47
6	米山 希	NCCS	42

■クラス4 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	でーぶ小林	J.A.C.	190
2	いりえもん	MAPLE	145
3	森田 昭彦	G-CLUB	142

■クラス1 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	迫田 雅子	TeamKachi	167
2	山田 訓義	kuni's.m.s.c	64
3	石澤 裕子	RT- はと車	63
4	菅野 総一郎	MAPLE	56
5	御纏 喜美子	MAPLE	54
6	厚地 保幸	KUMI-VICIC	50

■クラス2 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	石垣 晴恵	サムライ	116
2	露木 明浩	SHAFT	101
3	伊東 美紀	PRESTIGE	97
4	阿部 琢哉	MAPLE	45
5	本橋 貴司	Big On	45
6	鈴木 亜美	ZOUSAN	42
6	岩本 映	T-321	42

■クラス3 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	蔭山 恵	RBAC	181
2	佐瀬 拓野	T.F.T	72
3	福村 幸則	M.S.C. うめぐみ	72
4	JuYa	Luft MSC	57
5	名倉 弘行	HOT-MILK	47
6	白水 順一	TR-8	42

■クラス4 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	HA RU	J.A.C.	192
2	森田 宏子	G-CLUB	142
3	川口 達也	MAPLE	116

2025年 関東デイラリーシリーズ 上位入賞者

(表彰対象車のエントラントを記載 敬称略)

■Aクラス Driver

順位	氏名	有効ポイント
1	飯田 好範	31
2	古川 嘉彦	29
3	石野 一郎	29
4	松上 公紀	22
5	宇田川 賢	19
5	遠藤 昌	19

■Bクラス Driver

順位	氏名	有効ポイント
1	丸島 國義	40
2	福田 哲史	35
3	和田 秀文	33
4	永瀬 浩一	16

■Cクラス Driver

順位	氏名	有効ポイント
1	芳賀 昇二	34
2	岩本 栄佐夫	34
3	小林 喜巳成	33
4	岩瀬 晏弘	31
5	吉田 淳一	18
6	北村 敏史	17

■Lクラス Driver

順位	氏名	有効ポイント
1	小林 勝美	40
2	蛭子 毅	37
3	伊藤 知明	33

■Aクラス Navigator

順位	氏名	有効ポイント
1	黒澤 清二	31
2	小山 朗夫	29
2	本田 久幸	29
2	木下 正次	29
3	加藤 彦一	29
4	田中 和信	22
5	藤波 誠一	20
6	亀山 伸一	18

■Bクラス Navigator

順位	氏名	有効ポイント
1	浦野 智秋	40
2	水野 成生	33
3	入夏 高志	26
4	田口 雅生	16

■Cクラス Navigator

順位	氏名	有効ポイント
1	加納 ゆかり	34
2	三原 将純	34
3	佐藤 慎之介	34
4	山崎 浩子	31
5	亀山 伸一	20
6	吉田 富美代	18

■Lクラス Navigator

順位	氏名	有効ポイント
1	山本 芳男	40
2	梅田 臣宏	37
3	小川 博敏	33

2025年 JMRC長野県ラリーシリーズ 上位入賞者

(表彰対象車のエントラントを記載 敬称略)

■クラス 1 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	中村 一朗	TeamKachi	80
2	宮崎 克巳	RT-はと車	57
3	木村 政行	TeamKachi	38

■クラス 2 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	羽賀 幸雄	RTCO	51
2	Sebastian Sagawa	法論堂	42
3	佐藤 史彦	if	40

■クラス 3 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	内田 正樹	T.F.T	52
2	内田 裕樹	T.F.T	48
3	大山 忠信	Luft MSC	45

■クラス 4 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	でーぶ小林	J.A.C.	95

■クラス 1 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	迫田 雅子	TeamKachi	80
2	石澤 裕子	RT-はと車	57
3	林 敏雄	TeamKachi	38

■クラス 2 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	伊東 美紀	PRESTIGE	75
2	池谷 孝	法論堂	51
3	ツネタロウ	法論堂	42

■クラス 3 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	郷右近 孝雄	SATYRUS	48
2	Ju Ya	Luft MSC	45
3	佐瀬 拓野	T.F.T	40

■クラス 4 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	HA RU	J.A.C.	100

2025年 JMRC群馬県ラリーシリーズ 上位入賞者

(表彰対象車のエントラントを記載 敬称略)

■クラス 1 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	後藤 英隆	CMSC 福島	57
2	宇野 学	HOT STAFF	52
3	津田 宗一郎	C.R.T	49
4	上原 利宏	T.F.T	42
5	中村 一朗	TeamKachi	38
6	中島 紀子	kuni's.m.s.c	32

■クラス 2 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	山田 一雄	CB.F.C	82
2	石城 健司	SHAFT	55
3	藤田 勝正	MAPLE	54
4	濱井 義郎	CB.F.C	52
5	森岡 大次郎	Azul	32
6	福田 賢司	SPLASH	22

■クラス 3 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	細谷 裕一	MAPLE	87
2	数本 啓介	HOT-MILK	61
3	佐藤 慧	G-CLUB	56
4	高木 充	Z.A.C.S	40
5	金岡 基成	RBAC	31
6	田井 勇次	RT-MIZUBASYO	29

■クラス 4 Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	森田 昭彦	G-CLUB	80
2	いりえもん	MAPLE	80
3	でーぶ小林	J.A.C.	49

■クラス 1 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	菅野 総一郎	MAPLE	57
2	御纏 喜美子	MAPLE	42
3	迫田 雅子	TeamKachi	38
4	宇野 平	HOT STAFF	37
5	山田 訓義	kuni's.m.s.c	32
6	奥田 龍馬	KUMI-VICIC	31

■クラス 2 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	石垣 晴恵	サムライ	82
2	露木 明浩	SHAFT	55
3	阿部 琢哉	MAPLE	54
4	本橋 貴司	Big On	52
5	伊藤 克己	Azul	32
6	鳥塚 靖典	SPLASH	22

■クラス 3 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	蔭山 恵	RBAC	75
2	名倉 弘行	HOT-MILK	61
3	福村 幸則	M.S.C. うめぐみ	56
4	立久井 大輝	RBAC	28
5	齊藤 みずず	RMC-KUAC	28
6	渡辺 竜成	D:R	23

■クラス 4 Co-Driver

順位	氏名	所属クラブ	有効ポイント
1	森田 宏子	G-CLUB	80
2	川口 達也	MAPLE	60
3	HA RU	J.A.C.	25

2025年 クラブ賞

2025年 JMRC関東ラリーカップクラブポイント一覧・最多出場 (参加人数での集計)

順位	クラブ名	支部	ポイント			実人数		
			Driver	Co-Driver	TOTAL	Driver	Co-Driver	TOTAL
1	チーム・メーブルスポーツ	栃木	28	28	56	9人	10人	19人
2	レインボーオートクラブ	千葉	20	24	44	8人	11人	19人
3	ジー倶楽部スポーツ	東京	19	13	32	5人	4人	9人
4	ラリーチームかちかちやま	東京	15	16	31	3人	3人	6人
5	ラリー&トライアルチームシャフ	神奈川	14	16	30	7人	11人	18人
6	プレステージモーターススポーツクラブ	群馬	15	14	29	7人	6人	13人
7	上州オートクラブ	群馬	11	12	23	2人	4人	6人
8	アールティ山梨	山梨	13	8	21	6人	5人	11人
8	ラリーチーム・オロンド	神奈川	7	14	21	3人	4人	7人
10	チームシャフト	埼玉	13	7	20	3人	3人	6人

2025年 JMRC関東ラリーカップクラブポイント一覧・最多ポイント (参加者ポイントでの集計)

順位	クラブ名	支部	ポイント			実人数		
			Driver	Co-Driver	TOTAL	Driver	Co-Driver	TOTAL
1	チーム・メーブルスポーツ	栃木	388	287	675	9人	10人	19人
2	ジー倶楽部スポーツ	東京	260	188	448	5人	4人	9人
3	上州オートクラブ	群馬	190	220	410	2人	4人	6人
4	ラリーチームかちかちやま	東京	176	204	380	3人	3人	6人
5	レインボーオートクラブ	千葉	22	241	263	8人	11人	19人
6	チームファイナルタイム	東京	157	82	239	5人	3人	8人
7	チームシャフト	埼玉	109	101	210	3人	3人	6人
8	プレステージモーターススポーツクラブ	群馬	70	118	188	7人	6人	13人
9	シービーファミリークラブ	群馬	161	0	161	2人	0人	2人
10	ローバーラリークラブオブ神奈川	神奈川	92	42	134	1人	1人	2人

REAL PORTS DAMPER

勝利を
導け!!



KAYABA Rally Team 始動!

2026年度 全日本ラリーに 挑戦中!

REAL PORTS DAMPER

Spec TR

リアルスポーツダンパー スペック ティアーール

1/100秒こだわる為に開発された
全長調整式車高調整サスペンション

レースや走行会で1/100秒削る為に開発された全長調整式車高調。DLC加工を施したロッドでストロークがスムーズになり、タイヤから伝わるインフォメーションをダイレクトに感じます。

DLC加工

ロッド、および倒立シリンダには超薄炭素鋼皮膜処理ダイヤモンドライクカーボン(DLC)加工を施しています。フリクションを抑え、タイヤグリップ感がダイレクトに伝わります。



信頼の全長調整

強化ブラケットによる全長調整式車高調整を採用。ブラケットロックナットはテーパ構造で緩みを防止します。



32段階減衰力調整

タイムを削るために徹底したセッティングを可能にする32段階減衰力調整機構。



設定車種 [全長車高調整式]

サーキット/ターマック専用 RSD Spec TR

- TOYOTA ・ 86 / ZN6
- MITSUBISHI
 - ・ LANCER Evo.7,8,9 / C19A
 - ・ ANCFR Evo.10 / C74A
- HONDA
 - ・ S2000 / AP1
- SUBARU
 - ・ IMPRZA / GDB-A, B, C, D
 - ・ IMPRZA / GRB
 - ・ IMPRZA / GDB-E, F, G
 - ・ WRX STI / VAB
 - ・ BRZ / ZC6

コンパクトカーにはネジカラータイプ

設定車種 [ネジ式]

- TOYOTA
 - ・ Vitz RS / NCP : 3, NCP91, 131
- HONDA
 - ・ FIT / GK5
 - ・ GE8
 - ・ CIVIC TypeR / FD2
- MAZDA
 - ・ Demio / DE5FS
- SUZUKI
 - ・ SWIFT SPORTS / ZC31S, ZC32S, ZC33S

REAL PORTS DAMPER

Spec GR

リアルスポーツダンパー スペック ジーアール

ZRの血統を受け継ぐ減衰力調整機構の
純正形状車高調整サスペンション

カヤバグラベル専用サスペンションの最高峰SpecZRの血統を受け継いだリアルスポーツダンパーSpecGR。幅広いセッティングが可能でダートトライアル、グラベルラリーでライバルを圧倒します。

3way減衰力調整機構

圧側の高速と低速、伸側を個別に調整可能。コースやスプリングレート違い、ドライバーの好みに合わせた幅広いセッティングに対応。



リザーバタンク装備

リザーバタンクを装備し、スタートからフットワークまで安定した減衰力を発揮するのはもちろん、優れた耐久性も発揮します。



32段階減衰力調整

タイムを削るために徹底したセッティングを可能にする32段階減衰力調整機構。



設定車種 [リザーバタンク付車高調整式]

グラベル(未舗装)専用 RSD Spec GR

- TOYOTA ・ 86 / ZN6
 - ・ Vitz RS / NCP : 31
 - MITSUBISHI
 - ・ LANCER Evo.7,8,9 / CT9A
 - ・ LANCER Evo.10 / C74A
 - SUBARU
 - ・ IMPRZA / GDB-A, B, C, D
 - ・ IMPRZA / GDB-E, F, G
 - ・ IMPRZA / GRB
 - ・ BRZ / ZC6
 - SUZUKI
 - ・ SWIFT SPORTS / ZC31S, ZC32S, ZC33S
- ※ リザーバタンク有(●) / リザーバタンク有・無(▲) / リザーバタンク無(□)



Evolved Revolution

ADVAN

ADVAN ブランドサイトはこちら



コーナーを抜けると、新しい世界が見えてくる。
その刺激を求めて、人はブレーキングからまたアクセルペダルを踏み。
スタビリティ、グリップ、静粛性…。すべては想像を超えるだろう。
ひとつめのコーナーを抜ける前に、きっと、かつてない世界を感じるはずだ。
ADVAN。その刻印は、本物を知る大人だけのプライド。

<https://www.y-yokohama.com/brand/tire/advan/>

横浜ゴム株式会社 ☎ 0120-667-520 | <https://www.y-yokohama.com/jp/product/tire/> | 月に一度は空気圧の点検を。

